

# 2022年12月期 本決算説明資料

株式会社エプコ 証券コード: 2311 2023年2月13日 (月)

CHALLENGE TO EVOLUTION

脱炭素 × 建築 DX

**私たちは、住まい・暮らし・地球環境をDX技術で支えます。**

PURPOSE

# HCDs

HOUSING

CARBON NEUTRALITY

DIGITAL SOLUTIONS







# 01. 2022年12月期 実績

## 02. 中期経営方針

## 03. 2023年12月期 計画

## 04. 株主還元

## 05. Appendix.

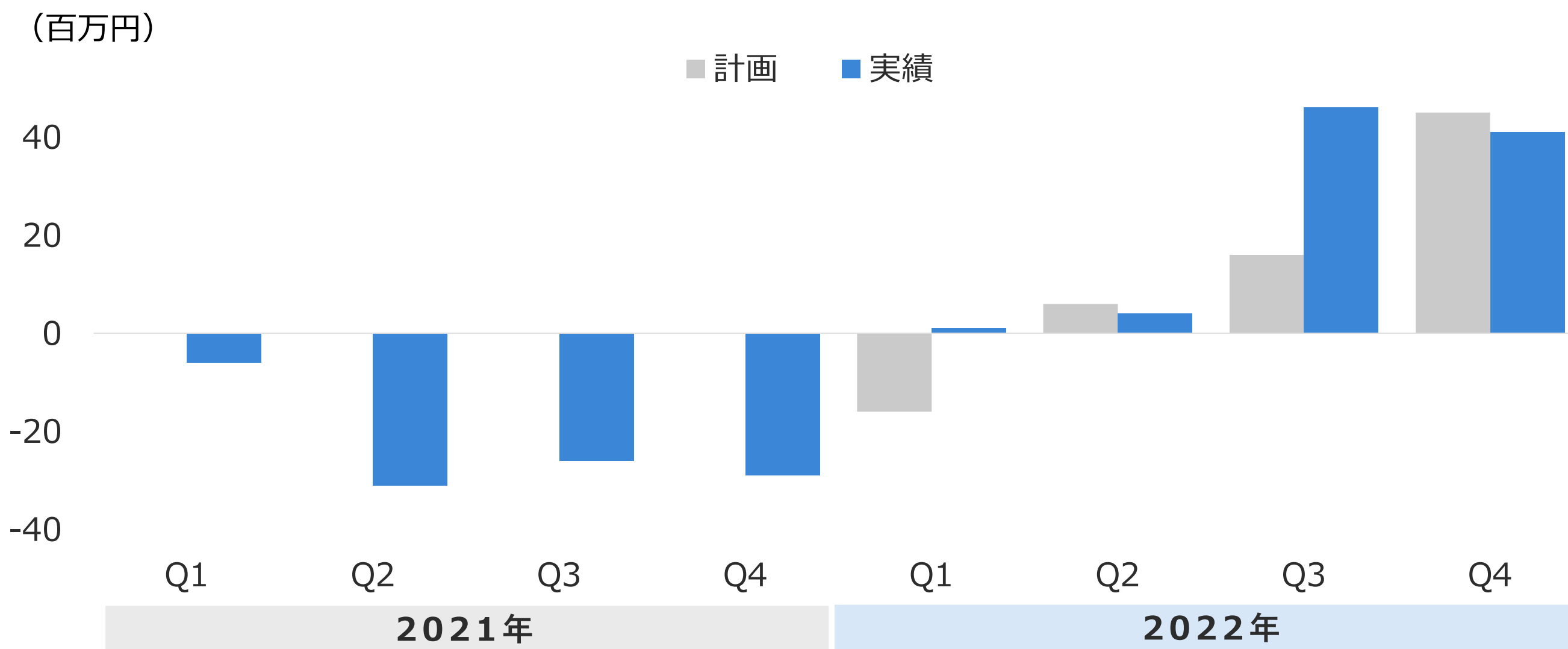
<h2>FY2022 連結業績</h2>	<p>経常利益 2.1億円 前期比 ▲41.5%</p>	<p>省エネサービスは好調も、設計サービスの減益をカバーできず</p> 
<h2>省エネサービス</h2>	<p>経常利益 1.3億円 前期比 <b>+2.0億円</b></p>	<p>TEPCOホームテックの大幅増益により黒字転換（家庭向け省エネ設備工事の受託増加）</p> 
<h2>メンテナンスサービス</h2>	<p>経常利益 2.2億円 前期比 ▲11.6%</p>	<p>売上は着実な成長を果たすも、業容拡大を見据えた新拠点（金沢）設立に伴う減益</p> 
<h2>設計サービス</h2>	<p>経常利益 1.9億円 前期比 ▲61.7%</p>	<p>①住宅着工（持家）減少、②円安の進行、③新規事業の立上げ遅れ、による大幅減益</p> 

## TEPCOホームテック持分法投資損益（省エネサービス）が計画を超過して増加

2022年度は、新築・既築住宅向け共に省エネ設備工事売上が増加傾向。

受注残高も堅調に推移しており、今後も安定的な業績を見込む。

TEPCOホームテック 持分法投資損益の推移



# 2022年12月期実績 | 連結業績 概況 (前期比)



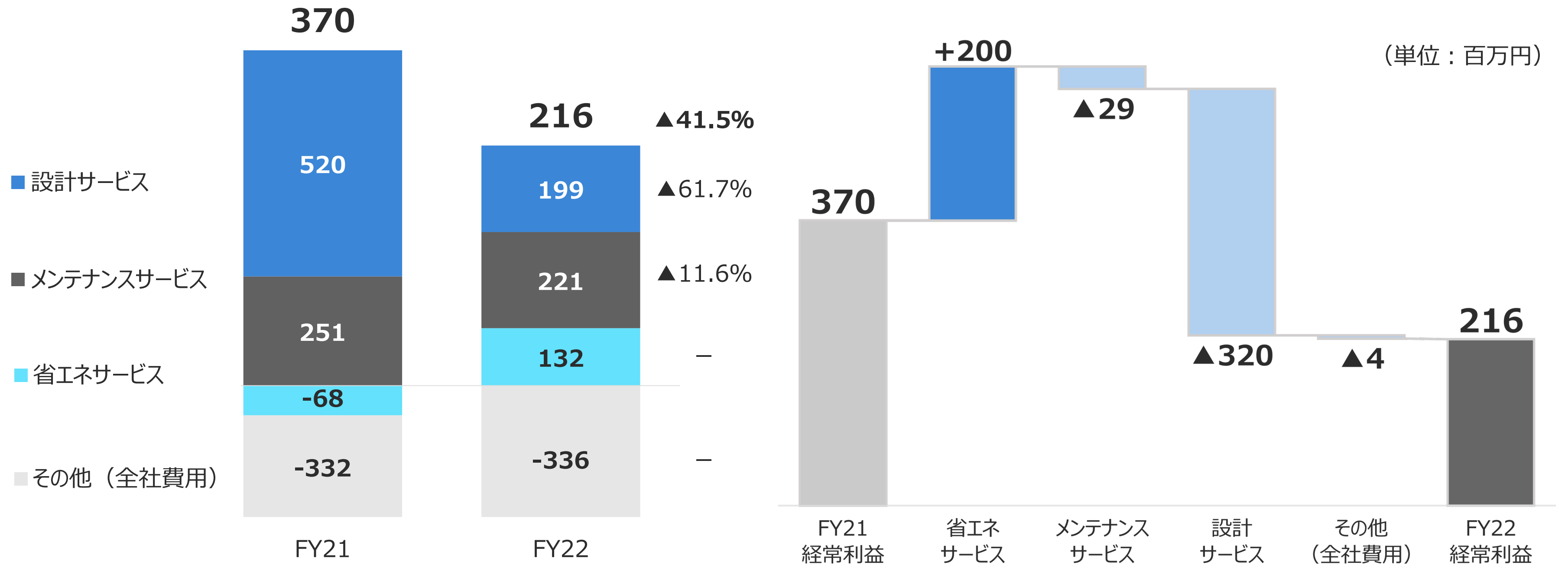
売上高は増収を確保した一方で、経常利益・純利益は減益で着地

(単位：百万円)	FY21 実績	FY22 実績	増減	増減率
売上高	4,696	4,818	+121	+2.6%
経常利益	370	216	▲153	▲41.5%
純利益	658	359	▲298	▲45.4%
※純利益の増加要因 投資有価証券売却益	622	254		

# 2022年12月期実績 | 連結経常利益（前期比）

## 主たる減益要因は、設計サービスにおける利益減少

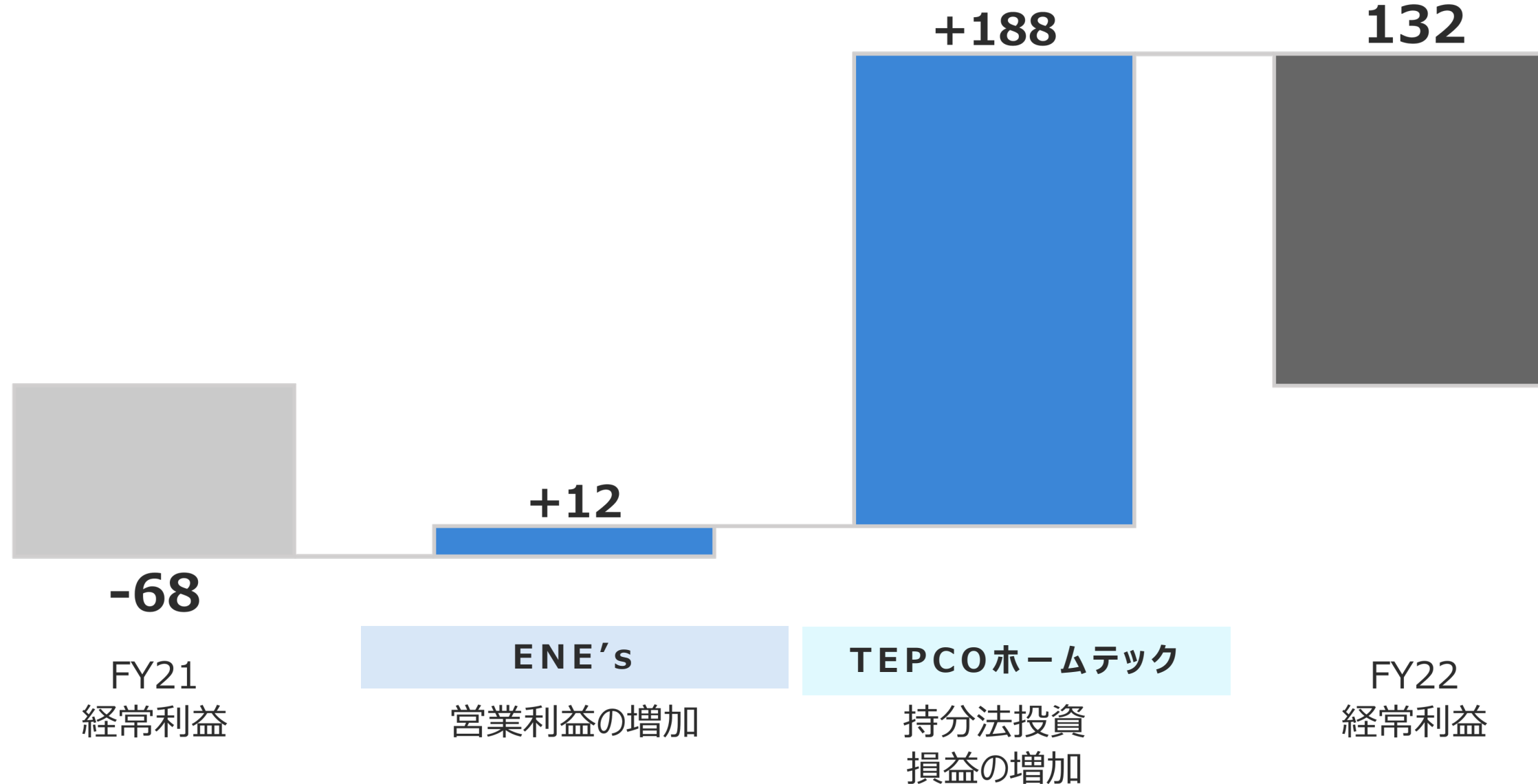
### エプコグループ 連結経常利益



## TEPCOホームテックの大幅増益による黒字転換

省エネサービス 経常利益 増減分析 (前期比)

(単位：百万円)



### 増益要因

**TEPCOホームテック**

- 太陽光
- 蓄電池

**大幅増加** (新築・既築)

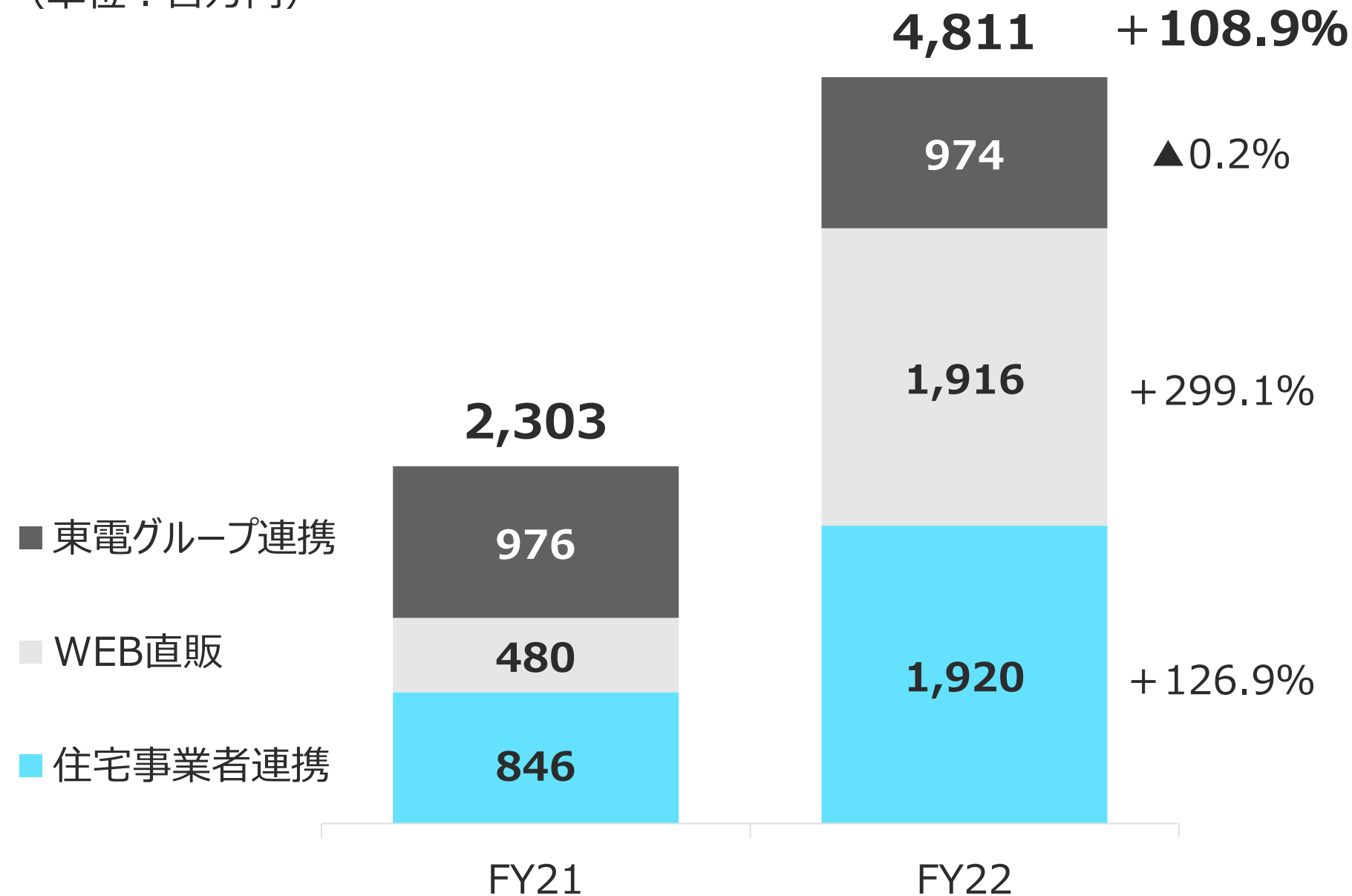
(詳細はP.8参照)



## 新築及び既築住宅向けの両輪による売上大幅増加

### TEPCOホームテック 売上高（前期比）

（単位：百万円）



### ビジネスモデル

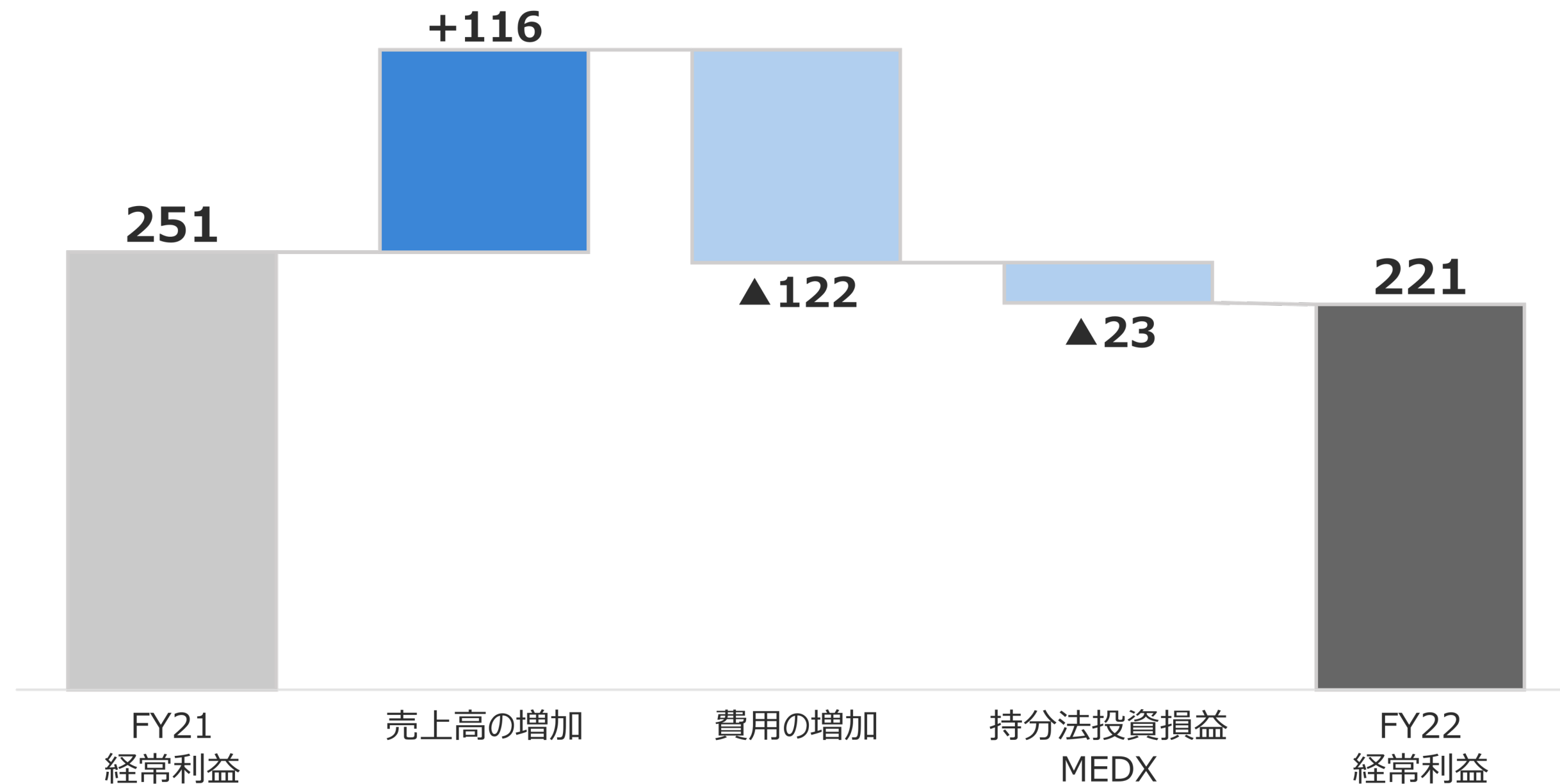




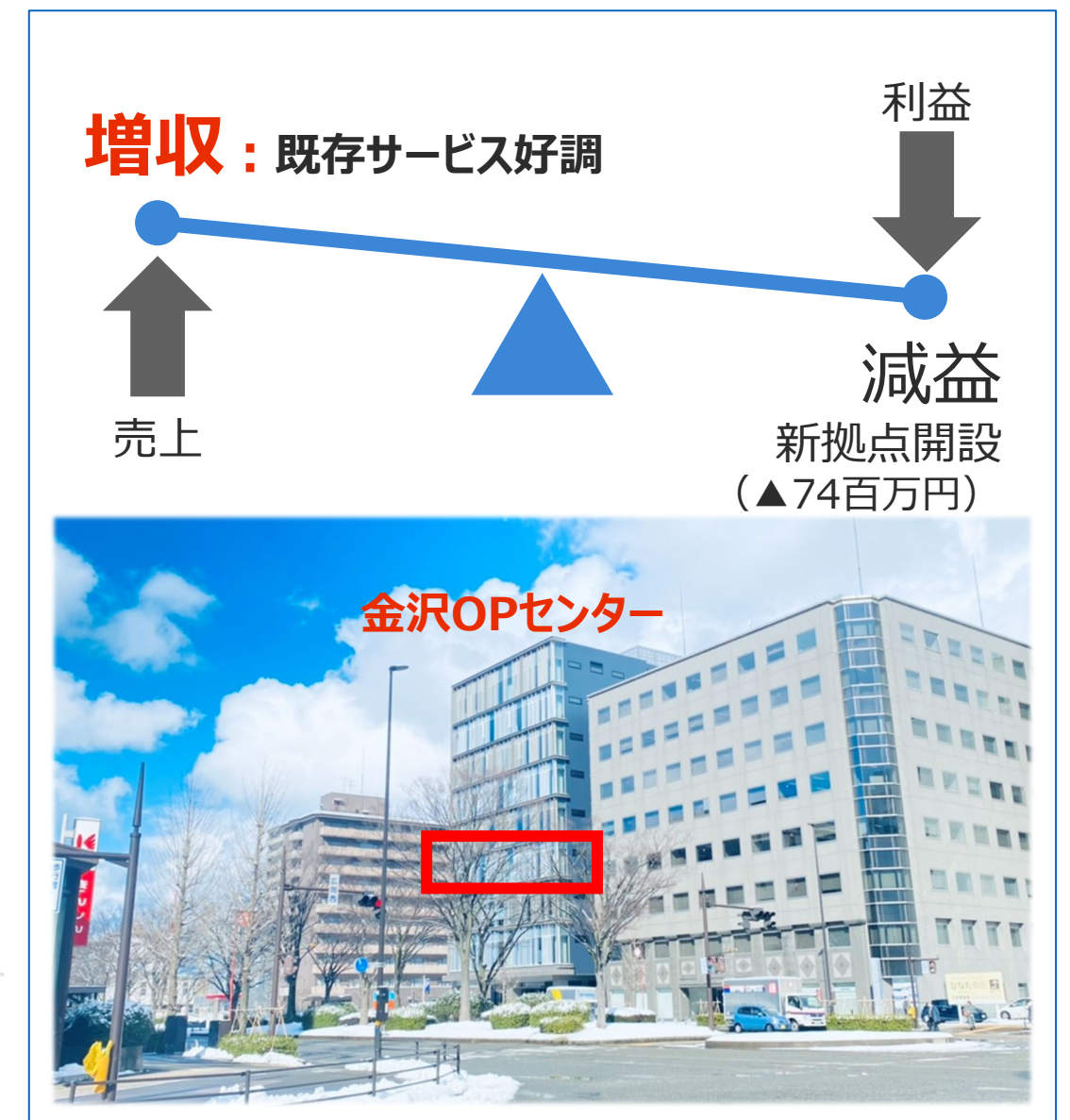
## メンテナンス売上高は着実に成長も、業容拡大に向けた新拠点開発費用も増加

メンテナンスサービス 経常利益 増減分析 (前期比)

(単位：百万円)



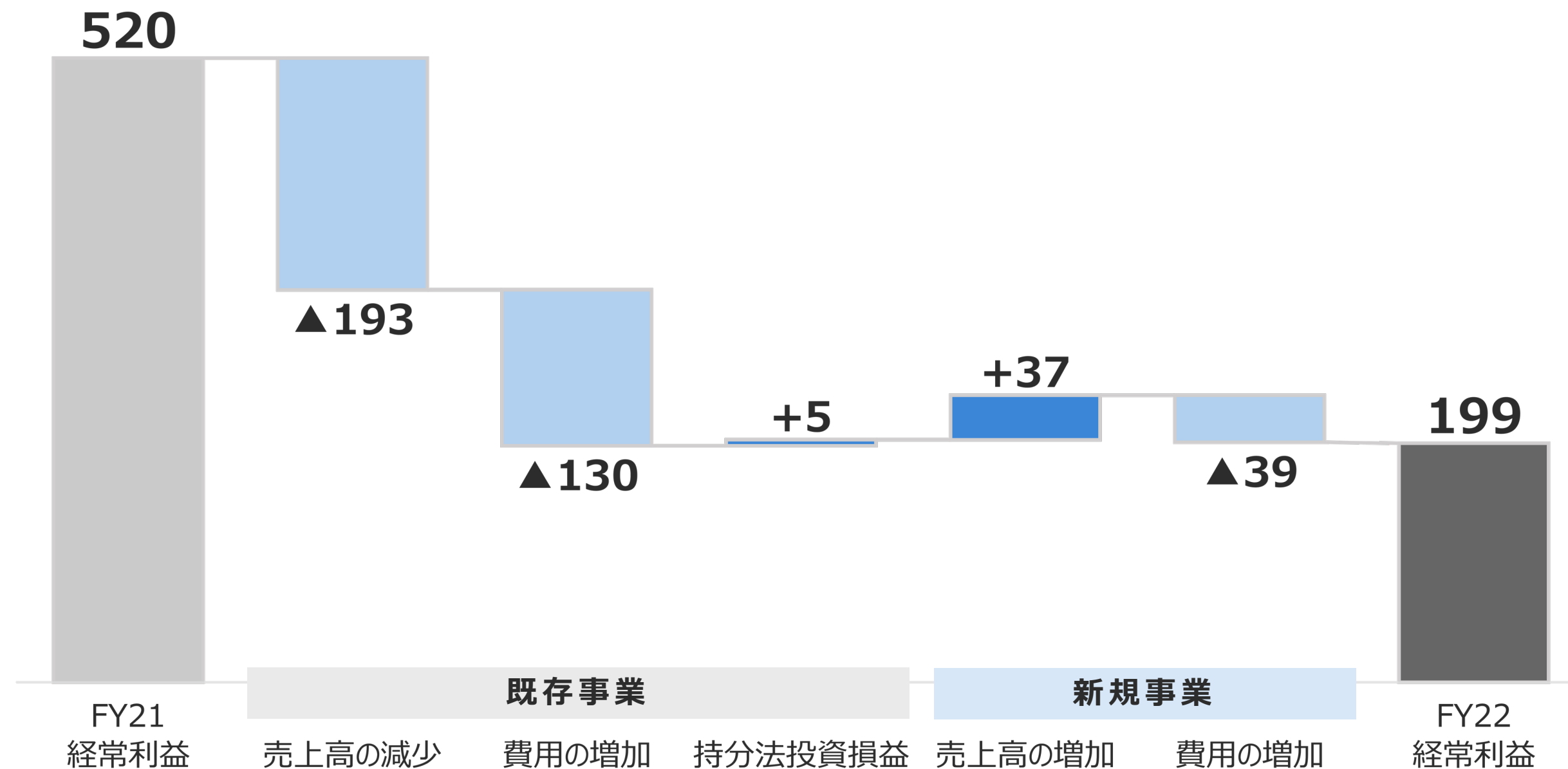
### 増収減益要因



## 減益要因：住宅着工減による売上減少及び円安による中国設計コスト増加

### 設計サービス 経常利益 増減分析（前期比）

（単位：百万円）



### 設計サービス事業の内訳

FY22	既存事業	新規事業	合計
売上高	2,038	68	2,106
営業費用	1,705	228	1,934
持分法損益	27	-	27
経常利益	359	-160	199

改善策：次ページ

## 対応方針を着実に遂行することで、来期は利益回復の見込み

### 課題

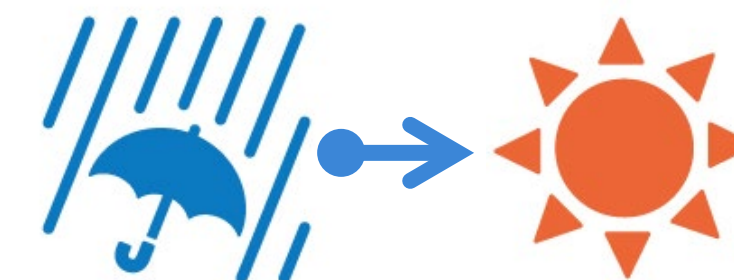
### 対応方針

【日本】  
新築減少による減収

【中国】  
円安による中国コストの増加

#### 日本：売上回復策

- ① **設計価格の見直し**→着手開始、順調
- ② **BPO業務受託**→TEPCOホームテックからの受託増加
- ③ **BIMサービス**→大手賃貸会社からの受託継続



#### 中国：利益改善策

\* CHINA LESSO GROUPとの合併会社化（詳細はP.18参照）

- ① **エプコ深圳**→LESSOグループとの合併会社化（コスト削減）
- ② **合併会社**→ LESSOの太陽光発電設計受託（売上増加）

(単位：百万円)

	FY21	FY22	増減	増減率
<b>売上高（連結）</b>	<b>4,696</b>	<b>4,818</b>	<b>+121</b>	<b>+2.6%</b>
省エネサービス（ENE's）	<b>792</b>	<b>953</b>	<b>+161</b>	<b>+20.3%</b>
メンテナンスサービス	<b>1,641</b>	<b>1,758</b>	<b>+116</b>	<b>+7.1%</b>
住宅系	1,278	1,314	+36	+2.8%
エネルギー系	363	444	+80	+22.2%
設計サービス	<b>2,262</b>	<b>2,106</b>	<b>▲155</b>	<b>▲6.9%</b>
既存事業	2,232	2,038	▲193	▲8.7%
新規事業	30	68	+37	+125.6%

(単位：百万円)	FY21	FY22	増減	増減率
<b>経常利益（連結）</b>	<b>370</b>	<b>216</b>	<b>▲153</b>	<b>▲41.5%</b>
省エネサービス	-68	132	+200	-
営業利益（連結）	25	38	+12	+47.8%
持分法投資損益（TEPCOホームテック）	-94	93	+188	-
<b>メンテナンスサービス</b>	<b>251</b>	<b>221</b>	<b>▲29</b>	<b>▲11.6%</b>
営業利益（連結）	251	245	▲5	▲2.3%
持分法投資損益（MEDX）	-	-23	▲23	-
<b>設計サービス</b>	<b>520</b>	<b>199</b>	<b>▲320</b>	<b>▲61.7%</b>
営業利益（連結）	498	172	▲326	▲65.4%
持分法投資損益（中国関連会社）	21	27	+5	+23.9%
<b>その他（全社費用・営業外損益）</b>	<b>-332</b>	<b>-336</b>	<b>▲4</b>	<b>-</b>

01. 2022年12月期 実績

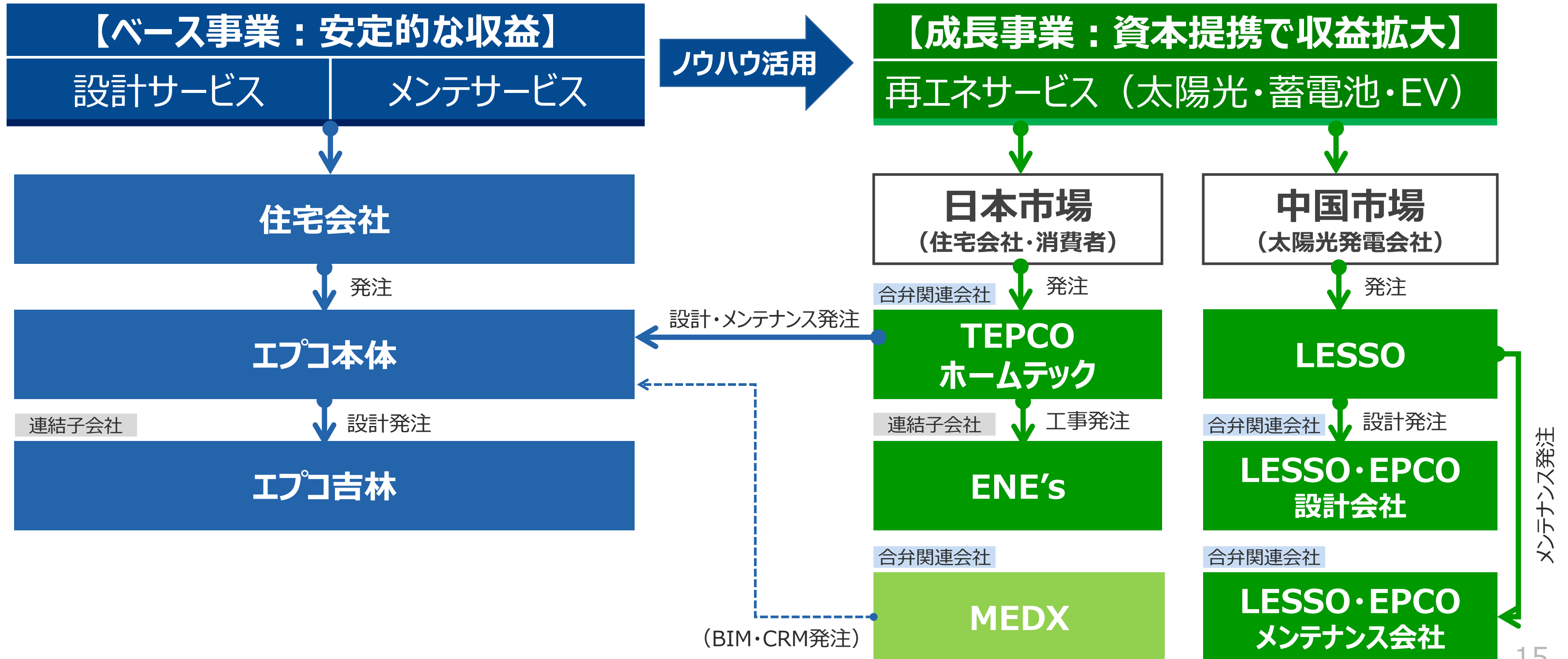
**02. 中期経営方針**

03. 2023年12月期 計画

04. 株主還元

05. Appendix.

ベース事業で安定収益を稼ぎつつ、成長事業に注力し収益の最大化を目指す。



## TEPCOホームテックは、家庭分野のカーボンニュートラルに不可欠な「総合設備企業」を目指す

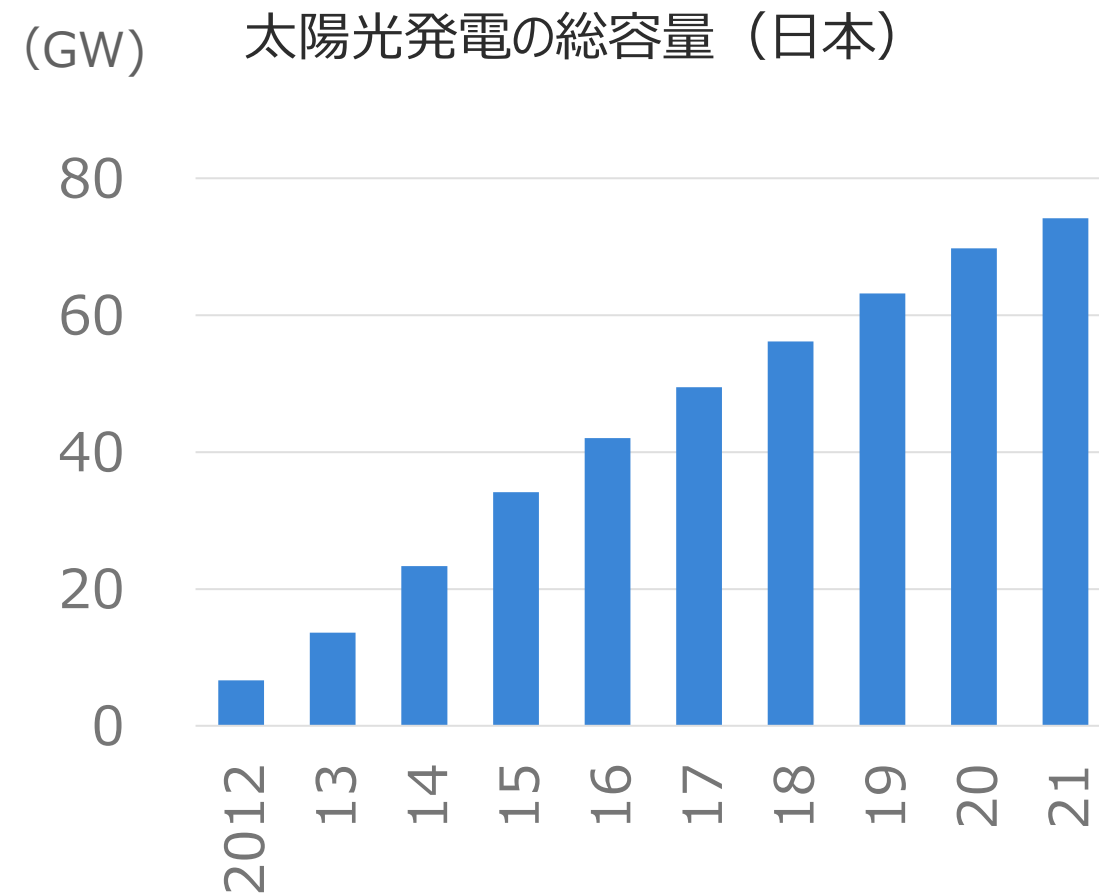




## 再エネサービスの主たる事業領域は、今後も成長が見込まれる

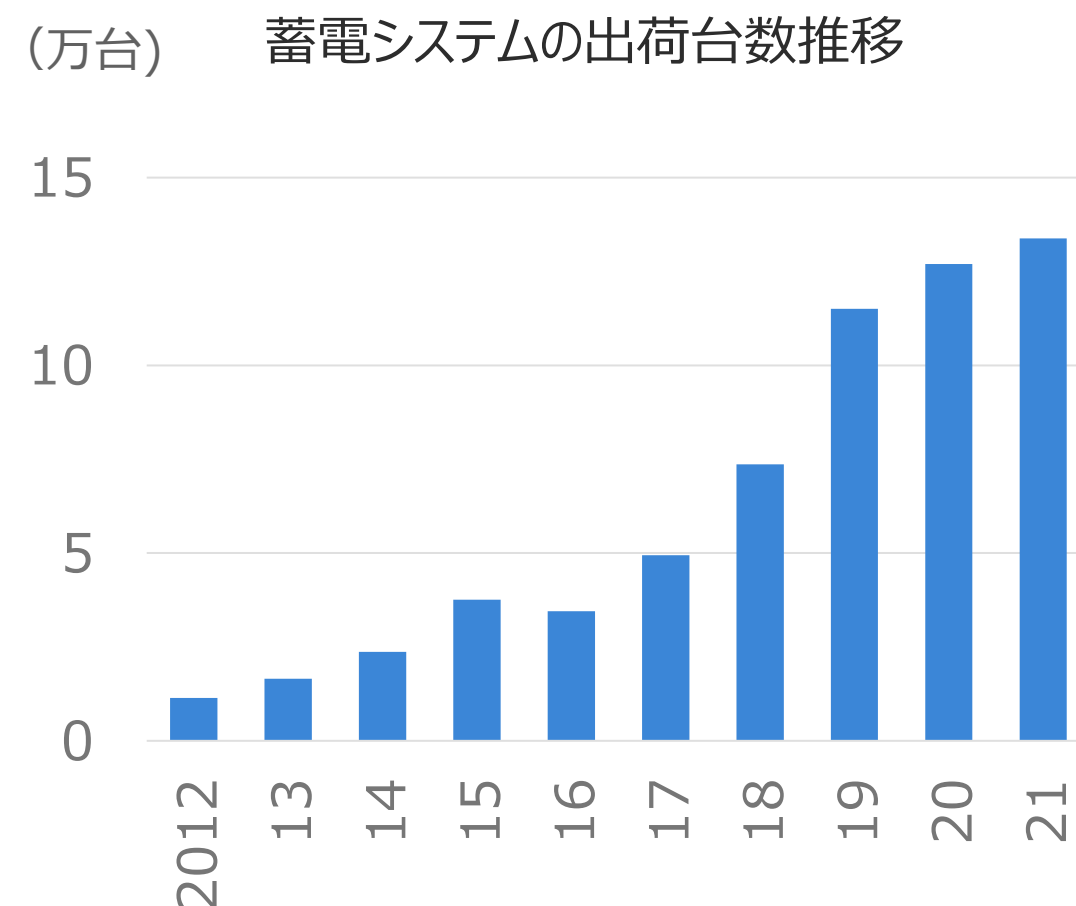
TEPCOホームテックの再エネアセットサービス（エネカリ）の受託が増加。  
太陽光発電、蓄電池、EV等の普及で更なる成長が見込まれます。

### 太陽光発電



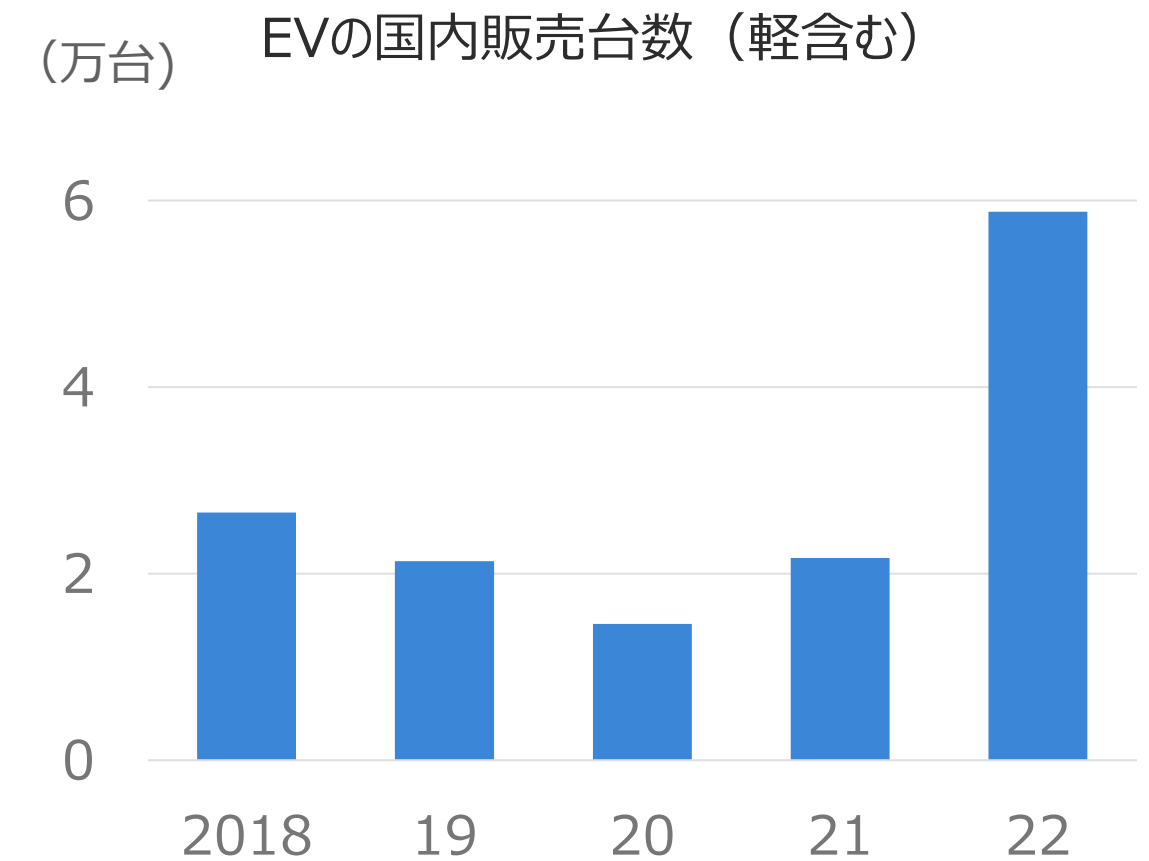
出典：IRENA（国際再生可能エネルギー機関）  
「RENEWABLE CAPACITY STATISTICS 2022」

### 蓄電池



出典：一般社団法人日本電機工業会  
「定置用リチウムイオン蓄電システム自主統計」

### EV



出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、  
全国軽自動車協会連合会公表データより当社作成

## 中国での太陽光発電市場をLESSO & EPCOで開拓

### LESSO 联塑

ブランド・製造技術・販売ネットワークを提供  
再エネ事業を第2のコア事業へ



設計・メンテナンス体制を提供  
中国再エネ事業での運命共同体

太陽光発電所向け  
一気通貫サービス

### LESSO・EPCO合併会社\*

#### LESSO 联塑

製品  
開発

販売

パネル  
製造

物流

工事

IT  
開発

設計

積算

確認  
申請

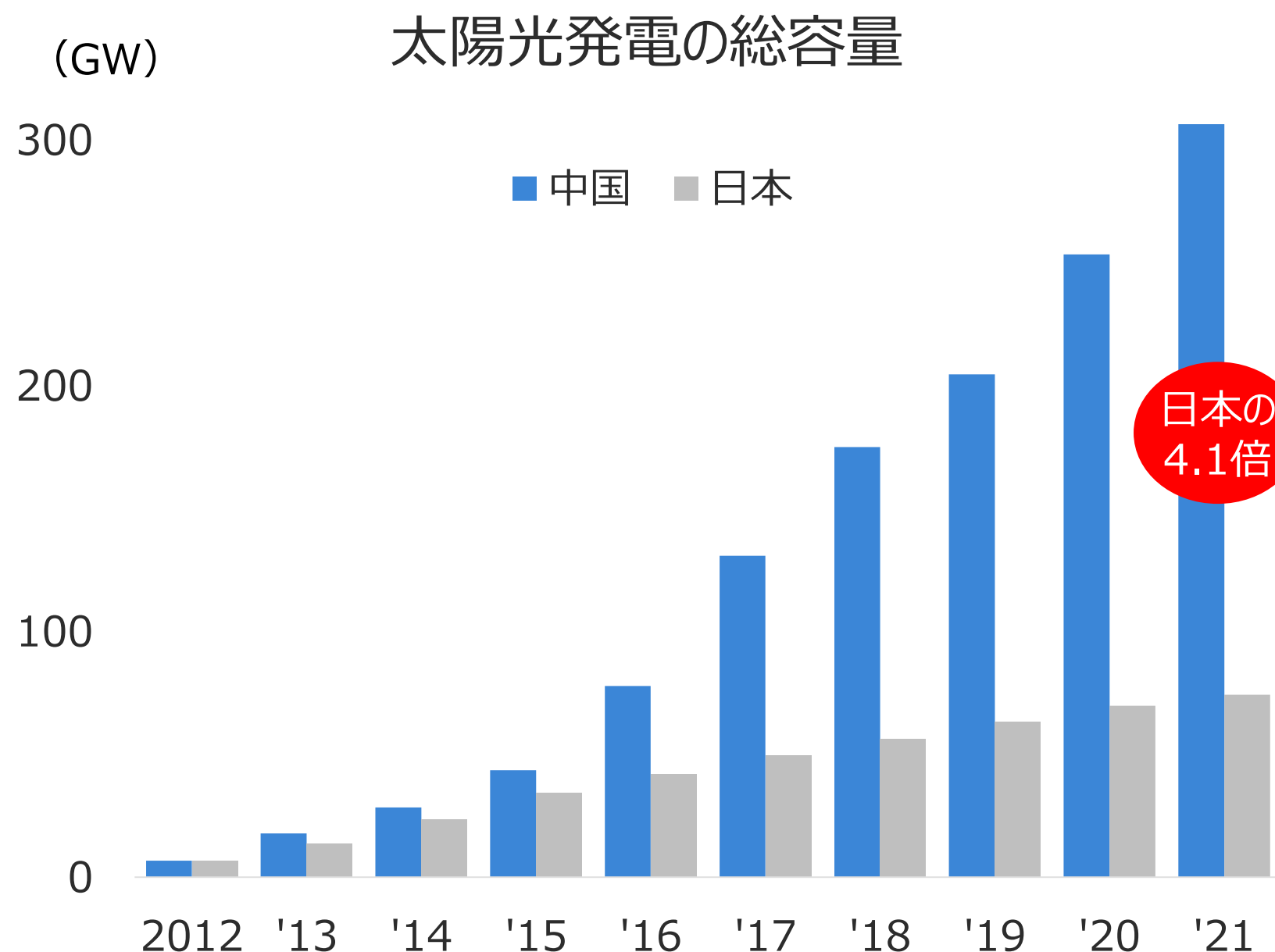
発電  
監視

メンテ  
ナンス

日本での太陽光システム開発と設計ノウハウと活用

\* 新社名：班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司：LESSO50%、EPCO50%

## 世界最大規模である中国の太陽光発電市場での事業展開を目論む



出典：IRENA「RENEWABLE CAPACITY STATISTICS 2022」

### 中国は太陽光発電設備の導入実績で世界最大

中国の太陽光発電設備の累積容量は世界最大(308.5GW)。世界全体の太陽光発電設備容量の約1/3。  
(参照：IEA「Snapshot 2022」)

### 国策として太陽光発電設備の更なる普及を計画

国家目標「3060目標」に基づき、さらなる普及拡大を計画  
2025年の太陽光発電増加量：150GW/年を予想  
(2020年比で3倍)

### LESSO社 太陽光発電市場へ本格参入

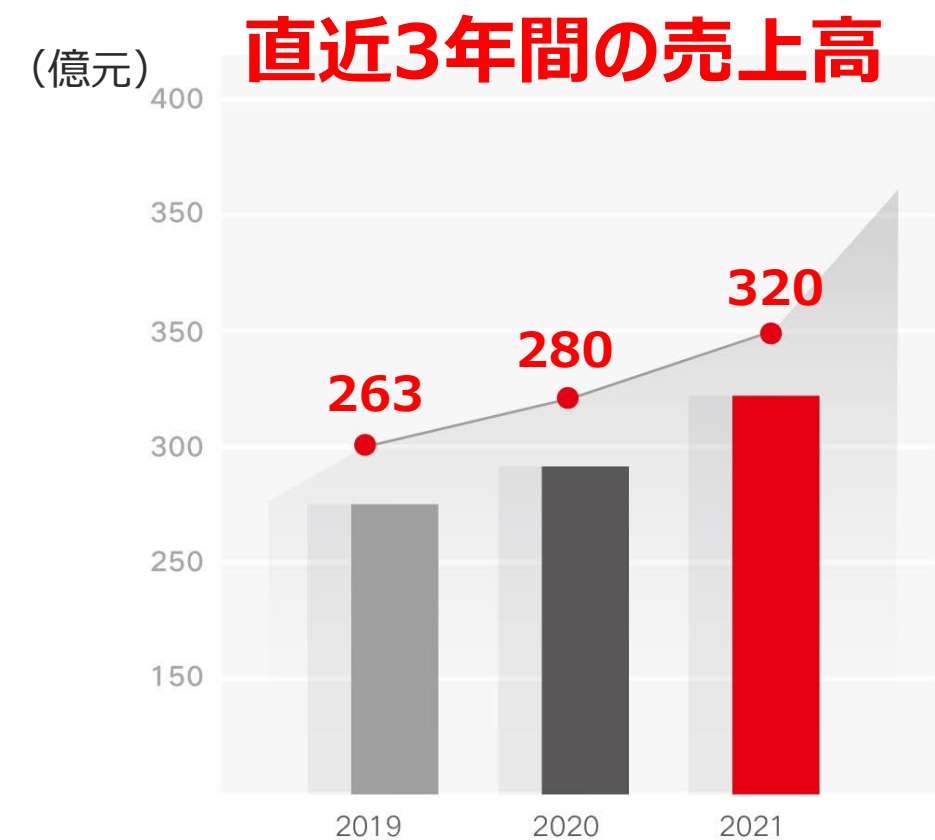
2022年1月、LESSOグループは太陽光発電事業の子会社を設立。  
2023年の太陽光パネル生産能力は7GW/年規模に。

# 中期経営方針 | (参考) LESSO Group 概要

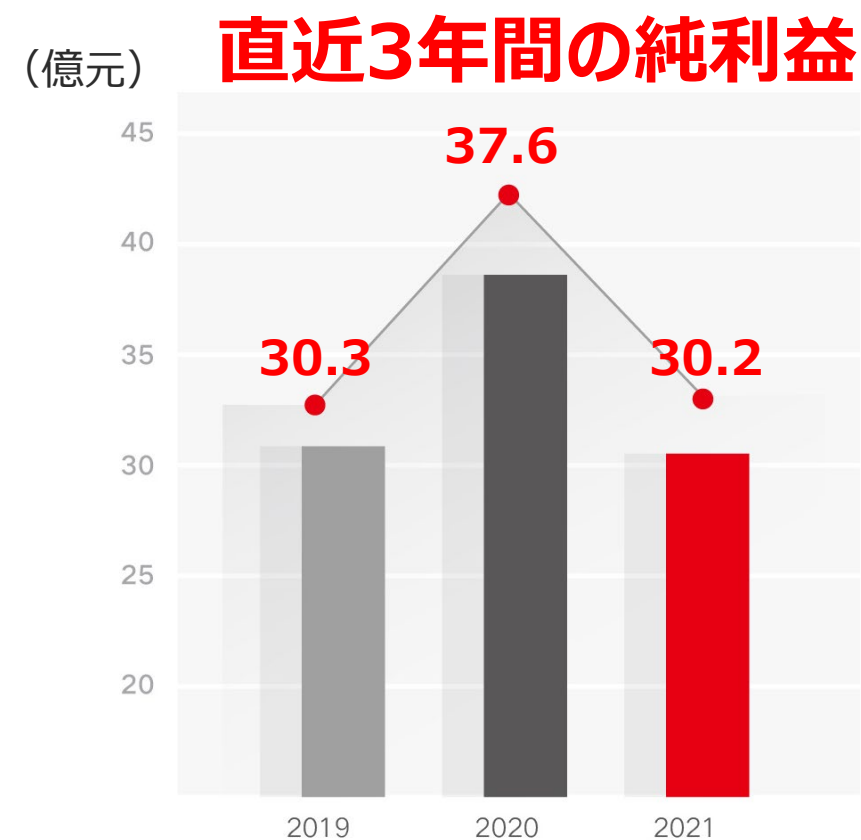
【企業名】 中国聯塑集团控股有限公司 (China Liansu Group Holdings Limited)

【所在地】 中国広東省佛山市

- 【概要】
- ・1986年創業
  - ・中国最大手の樹脂パイプ・継手メーカー：中国500強企業（ランキング375位）
  - ・香港市場上場（証券コード 2128：HK）
  - ・生産工場：中国全土30か所、海外7か所
  - ・販売店網：中国全土で約30,000社



単位：億元

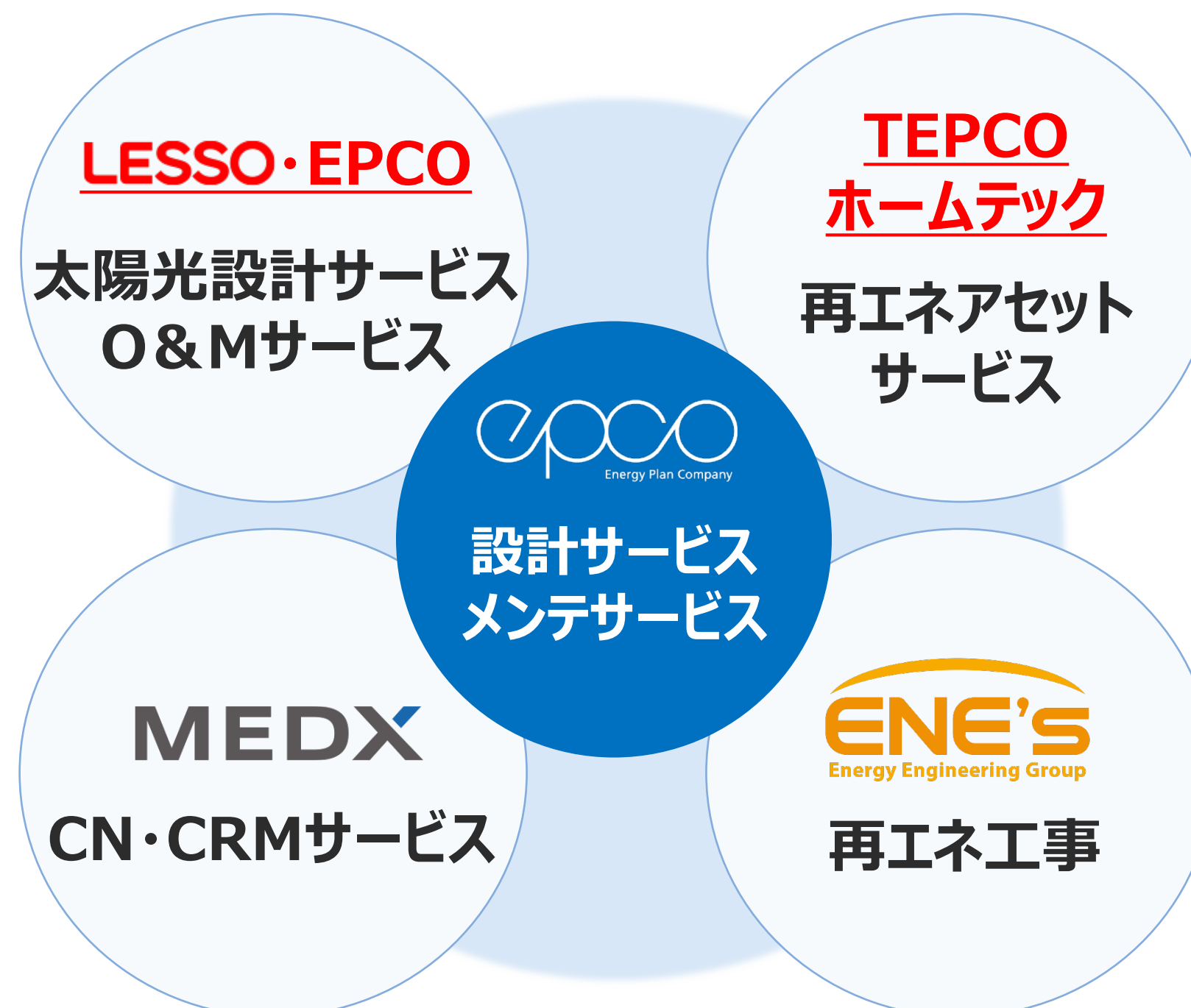


単位：億元

## LESSO本社



当社グループのパーパス「住まい・暮らし・地球環境をデジタル技術で支える」を実現するために、  
エプコはグループ企業と連携し、再エネサービスで成長を図ります。






01. 2022年12月期 実績

02. 中期経営方針

**03. 2023年12月期 計画**

04. 株主還元

05. Appendix.

<h2>FY2023 連結業績</h2>	<p>経常利益 2.8億円</p> <p>前期比 <b>+33.4%</b></p>	<p>日本及び中国の太陽光関連事業が業績好調 再エネサービス及び設計サービスの増益が主要因</p> 
<h2>再エネサービス</h2>	<p>経常利益 2.0億円</p> <p>前期比 <b>+50.3%</b></p>	<p>エコシンセンの合併会社化（P.18参照）による 中国太陽光事業における持分法投資損益の増加</p> 
<h2>メンテサービス</h2>	<p>経常利益 2.0億円</p> <p>前期比 ▲14.8%</p>	<p>業容拡大を見据えた人件費及び新拠点費用の 増加による減益</p> 
<h2>設計サービス</h2>	<p>経常利益 2.6億円</p> <p>前期比 <b>+55.4%</b></p>	<p>エコシンセンの合併会社化（P.18参照）に伴い、 中国設計費用の負担額減少による増益</p> 

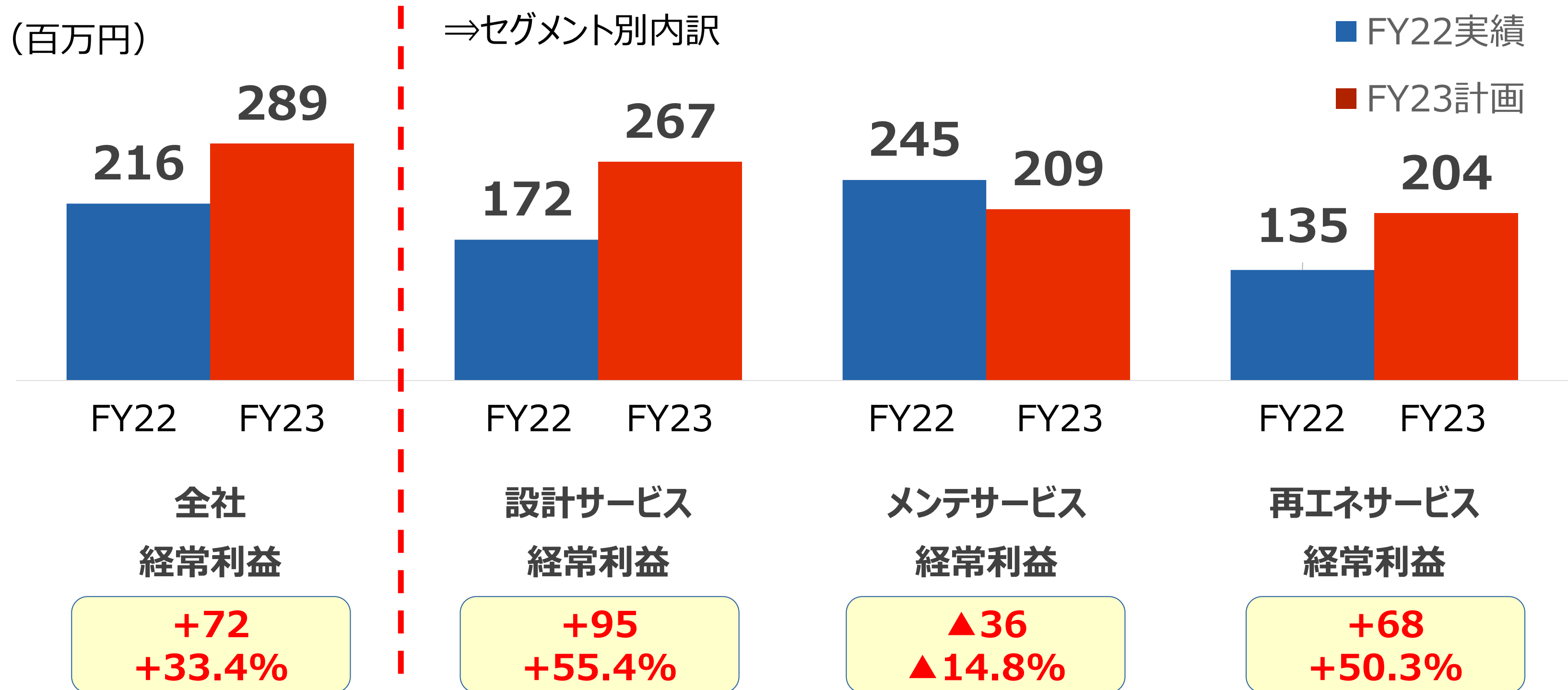
※ 2023年12月期より、前期において「省エネサービス」と表示していたセグメント名称を「再エネサービス」に変更しております。

## CHINA LESSOとの連携強化により、経常利益 + 33.4%増益見込み

(単位：百万円)	FY22 実績	FY23 計画	増減	増減率
売上高	4,818	4,918	+99	+2.1%
経常利益	216	289	+72	+33.4%
純利益	359	306	▲52	▲14.8%
※純利益の増加要因				
投資有価証券売却益	254	—		
子会社株式売却益	—	80		



## 設計サービスの利益回復及び再エネサービスの利益成長による増益



## エプロ深セン合併会社化による設計費用負担の減少及び持分法利益増加による増益

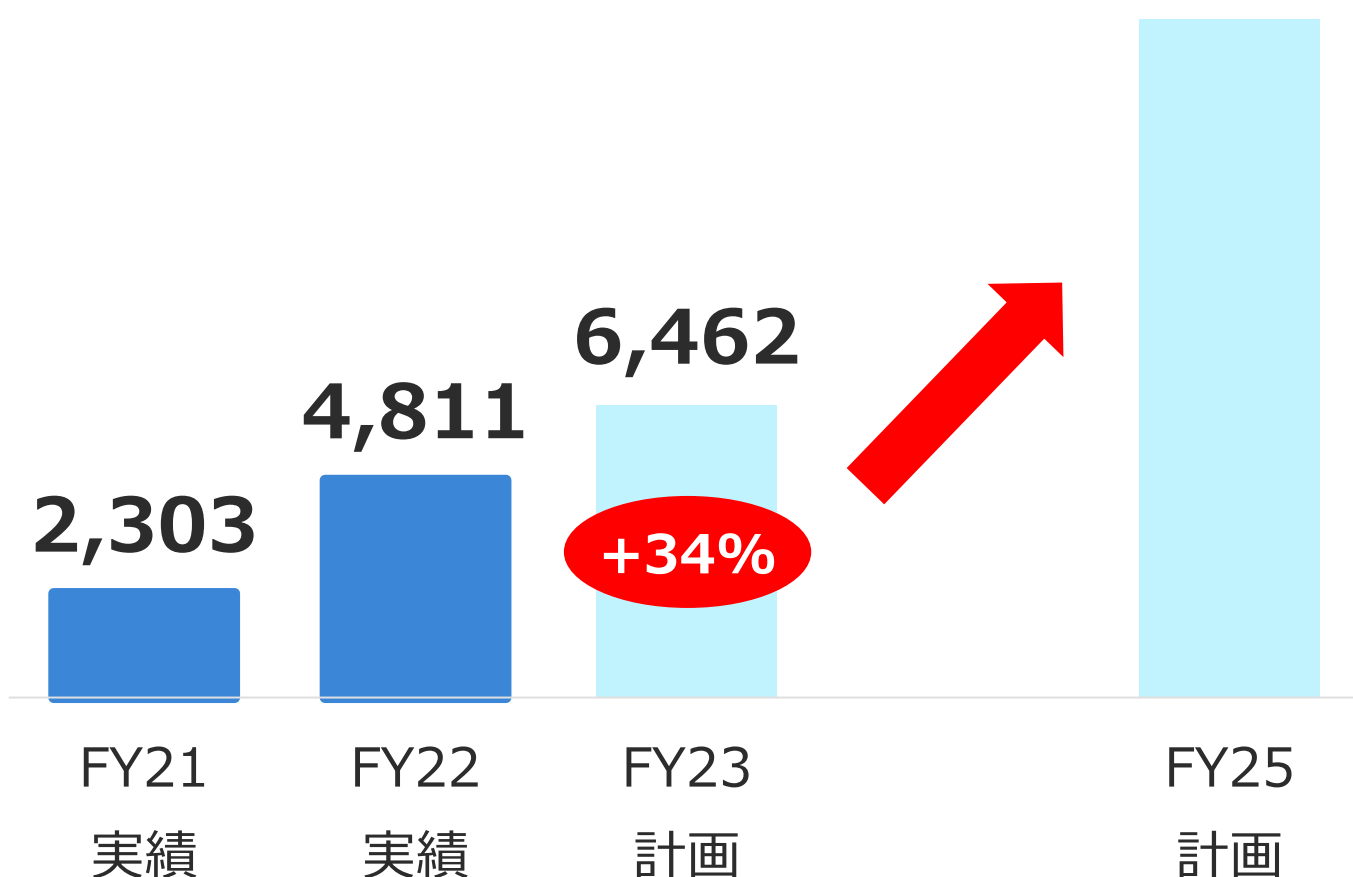
(百万円)



## TEPCOホームテック (THT) 業績は急拡大中、今期は足場固めの一年

**TEPCOホームテック  
売上高の推移**

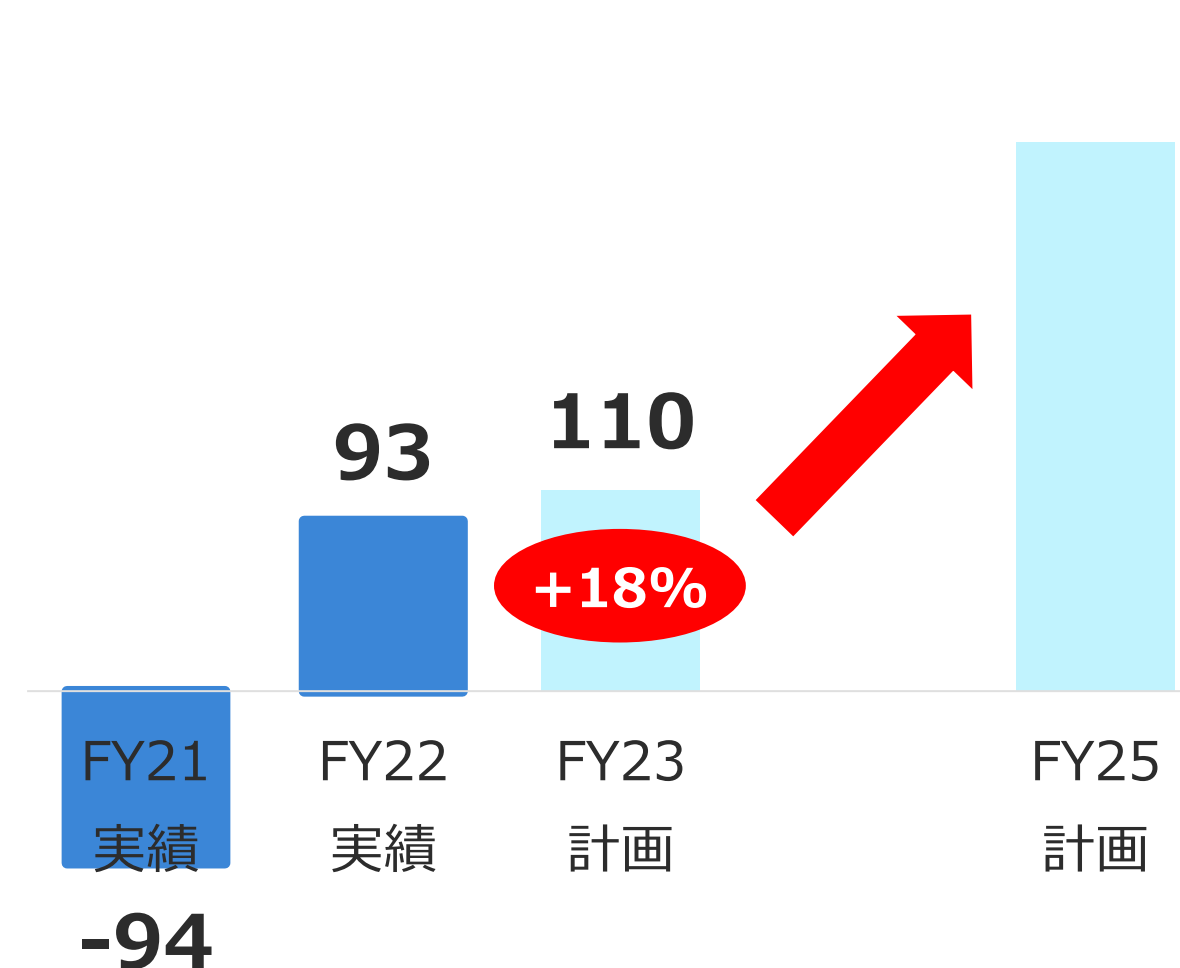
(単位：百万円)



**受託体制強化により  
さらなる成長が可能**

**TEPCOホームテック  
持分法投資損益の推移**

(単位：百万円)



**受託体制強化の投資を実施**

従業員増員

工事店等拡充



(単位：百万円)

FY22実績

FY23計画

増減

増減率

売上高 (連結)	4,818	4,918	+99	+2.1%
再エネサービス	953	1,020	+66	+7.0%
メンテサービス	1,758	1,810	+51	+2.9%
設計サービス	2,106	2,087	▲18	▲0.9%

(単位：百万円)	FY22実績	FY23計画	増減	増減率
<b>経常利益（連結）</b>	<b>216</b>	<b>289</b>	<b>+72</b>	<b>+33.4%</b>
<b>再エネサービス</b>	<b>135</b>	<b>204</b>	<b>+68</b>	<b>+50.3%</b>
ENE's	38	38	+0	+1.1%
TEPCOホームテック	93	110	+17	+18.2%
LESSO	27	97	+70	+260.9%
MEDX	-23	-43	▲19	—
<b>メンテサービス</b>	<b>245</b>	<b>209</b>	<b>▲36</b>	<b>▲14.8%</b>
<b>設計サービス</b>	<b>172</b>	<b>267</b>	<b>+95</b>	<b>+55.4%</b>
<b>その他（全社費用・営業外損益）</b>	<b>-336</b>	<b>-391</b>	<b>▲55</b>	<b>—</b>

※ FY22実績数値は、2023年度より持分法投資損益の集計方法を変更しているため、P.13に記載されている数値と異なります。  
 （合併会社各社の事業実態を踏まえて、LESSO及びMEDXの持分法投資損益を再エネサービスに集約）

# 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	1日平均 売買代金
当社の適合状況 及びその推移	2021年6月30日時点	2,433人	38,351	36.3億円	41.1%	0.14億円
	<b>2022年12月31日時点 (※)</b>	<b>5,853人</b>	<b>46,973</b>	<b>33.0億円</b>	<b>50.4%</b>	<b>0.23億円</b>
プライム市場 上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
適合状況		○	○	×	○	○
適合計画期間 (経過措置の終了時期)		—	—	2025年12月期 (2025年12月末)	—	—

※ 2022年12月31日時点における各数値は、当社が株券等の分布状況等の情報をもとに試算を行った概算値となります。

## プライム市場 上場維持に関する当社見解

2023年1月30日、東京証券取引所より、プライム市場の経過措置適用企業に対して**市場区分の再選択**の機会が設けられました。その対応につきましては**現在検討中**であり、再選択期間である**2023年4月1日から9月29日の間に方針を発表**いたします。

なお、上場維持基準の適合計画書内で公表している中期経営計画の定量目標（2025年度）につきましても、最新の状況に基づきローリングを行う方針であり、上記の方針発表時期に合わせて新しい中期経営計画の定量目標を発表する予定です。

01. 2022年12月期 実績

02. 中期経営方針

03. 2023年12月期 計画

**04. 株主還元**

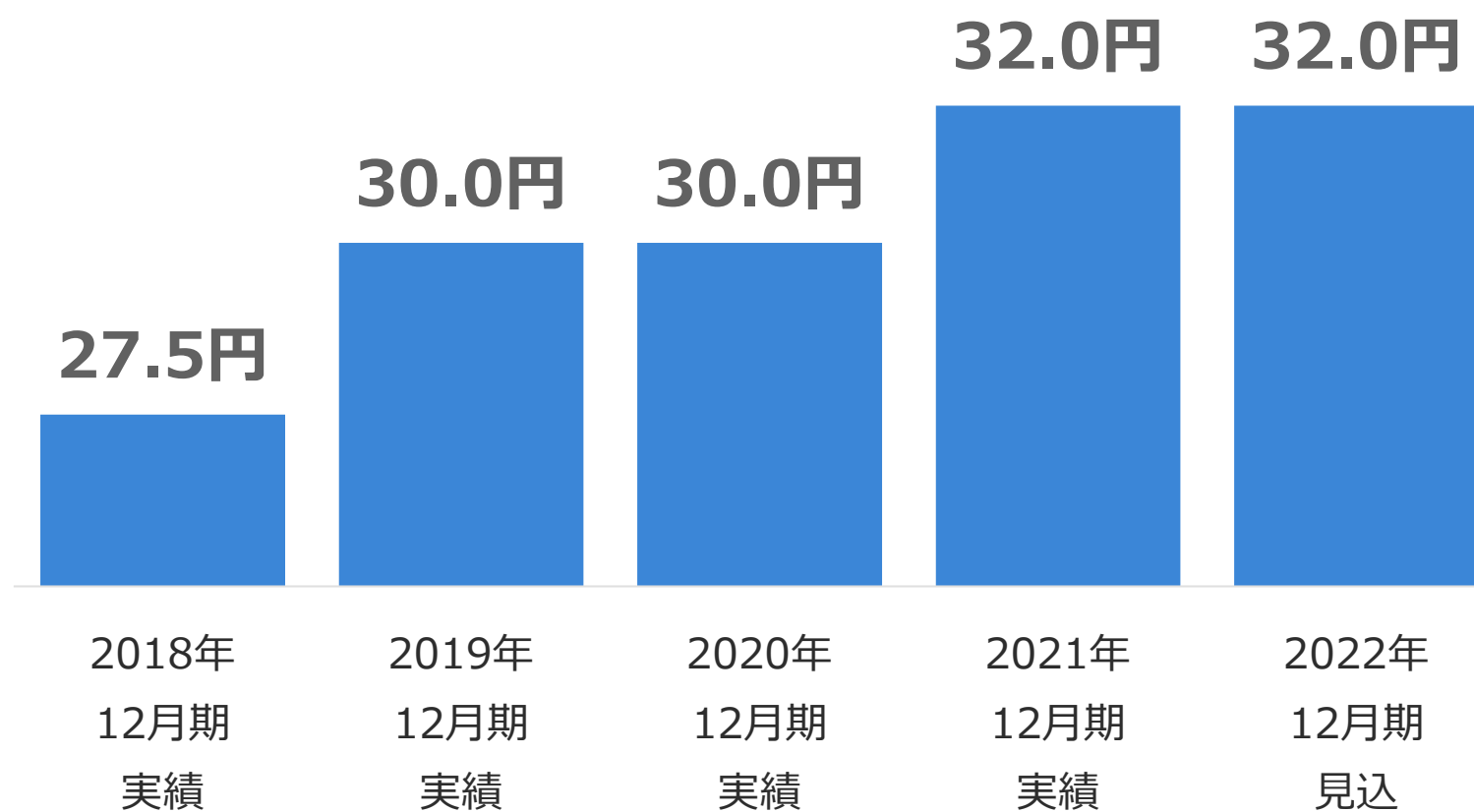
05. Appendix.

配当方針：連結配当性向50%及び純資産配当率（DOE）8%を目安とした利益還元を**安定的**に実施

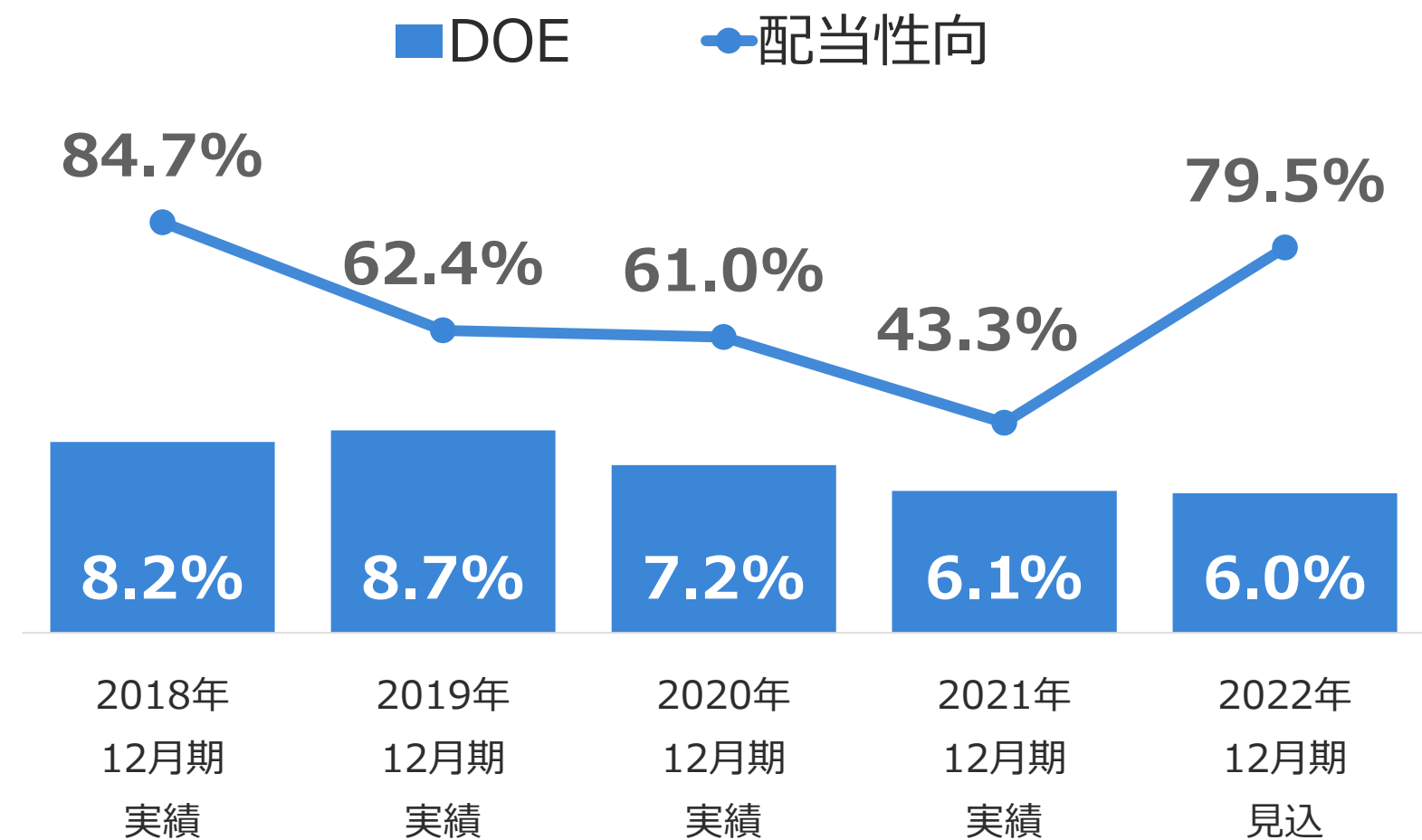
2022年12月期 1株当たり配当予想額 **32円**（第2四半期末：14円、期末：18円）

配当利回り **4.2%**（2023年1月31日付株価（759円/株）にて算定）

【配当金】



【配当性向、純資産配当率（DOE）】





### 株主様だけでなく、当社及び地球環境にも有益な「三方よし」の株主優待

#### 抽選式株主優待の内容

- **太陽光発電システム（100万円相当）を無償で設置する権利』を贈呈**  
※蓄電池も選択可能
- **抽選で6名様**に贈呈（2022年度） 上半期3名様、下半期3名様

#### 抽選対象となる株主様

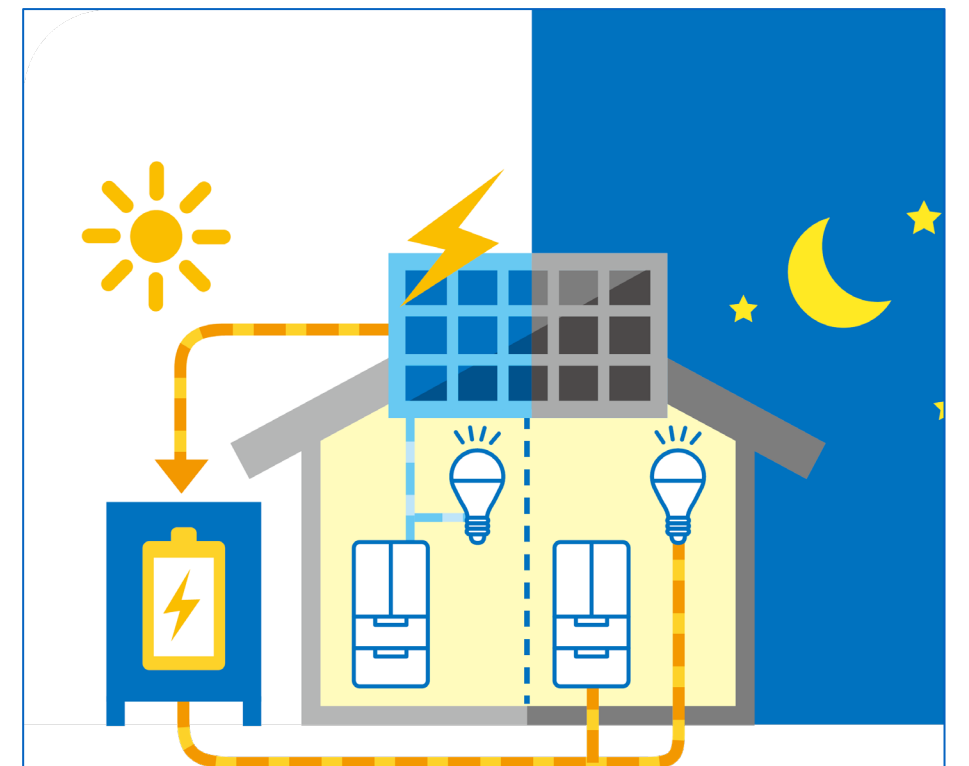
- ①当社株式**1单元（100株）以上を保有**されている株主様  
**2022年12月末日**（下半期）の当社株主名簿に記載された株主様
- ②当抽選に**応募する手続を実施**した株主様

#### 設置可能場所

- 当選者は設置場所を**自由に指定**することが可能
- 設置条件：**日本国内の戸建て住宅（設置要件あり）**

#### 抽選の概要

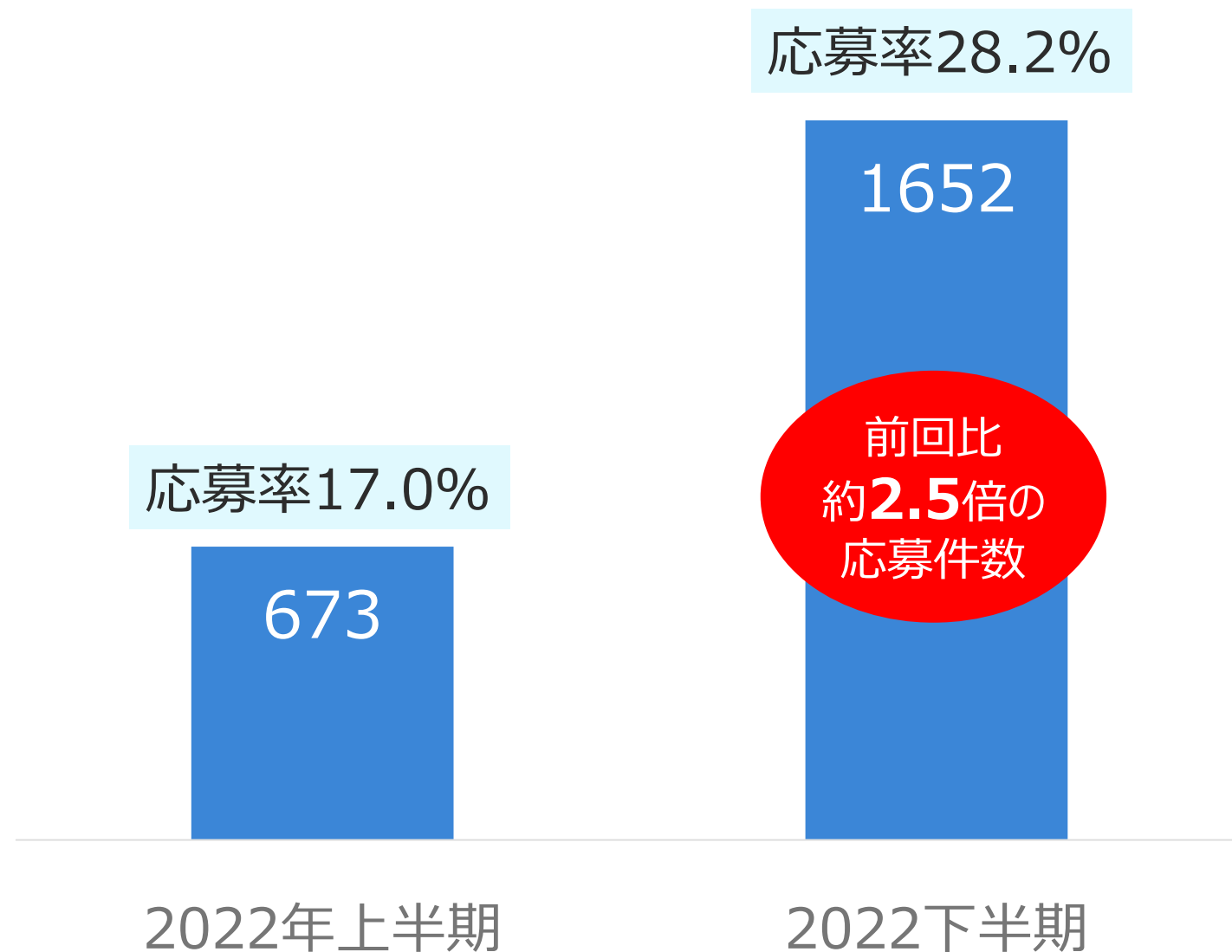
- 下半期は2023年2月27日（月）を予定
- 抽選時の当選確率は**保有株式数に応じて比例的に増加**  
**上限1,000株・最大10口**



テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」で当社株主優待が取り上げられました。

2022年下半期の応募は上半期比で**約2.5倍（1,652件）** ご好評を頂いております。

【応募件数（受付開始後一週間）と応募率】



## 株主様からの声（抜粋）

ユニークな株主優待だと思います。個人投資家としては確率低くても、ささやかな夢を見させていただきながら応援したいと思います。

電気代が高くなりこれから自家発電の時代になると思います。

事業を元にした**面白い株主優待**を実践しているとのことで興味を持ち、思わず株式を購入してしまいました。

株主優待がおもしろくて株主になりました。  
もし当選することがあれば親族の家に設置してあげたいです。

東京都では新規住宅への**太陽光発電設置が義務化**されますので、御社のご活躍を期待しています。

01. 2022年12月期 実績

02. 中期経営方針

03. 2023年12月期 計画

04. 株主還元

**05. Appendix.**

## 経営理念

我々は、エプコグループで働く情熱ある社員とその家族の幸福を追及します。  
 エプコグループの存在目的は、社会問題を減らし、国民生活に貢献することです。  
 エプコグループは、世界の人々の住まい、暮らしを支えるインフラ企業を目指します。

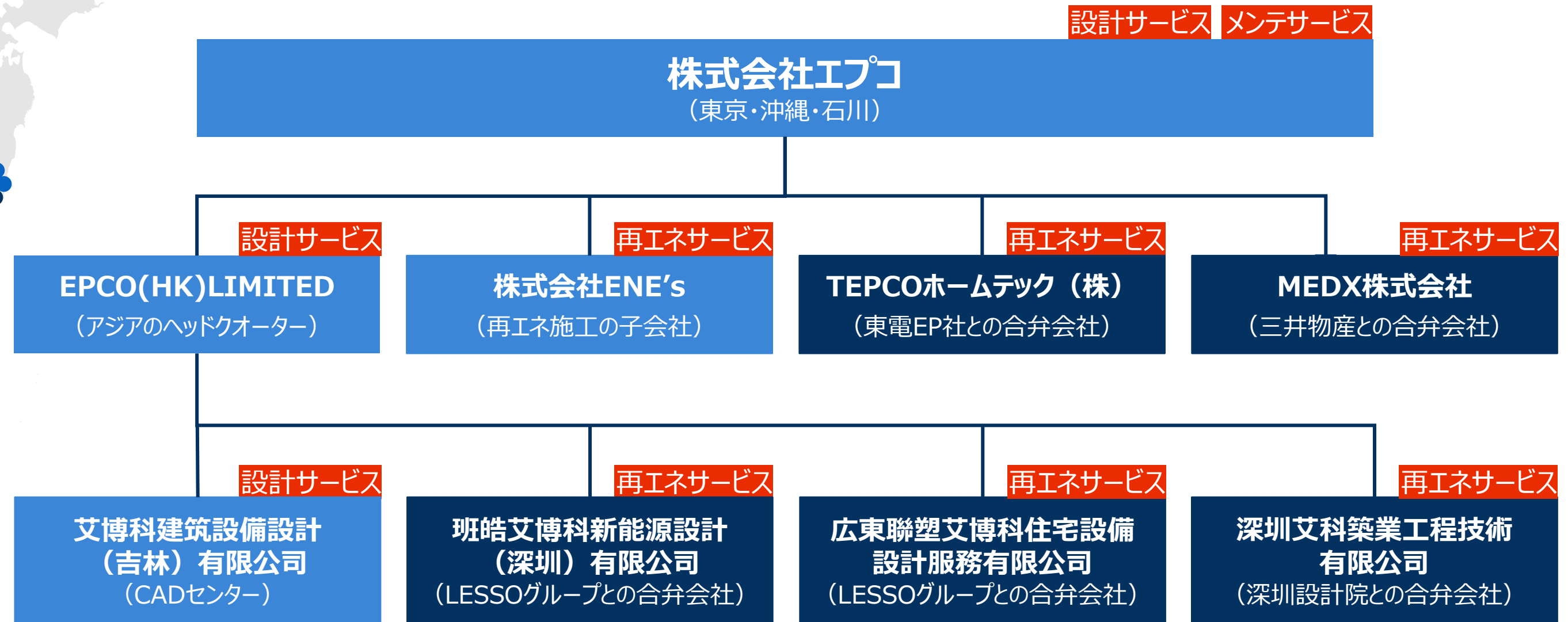
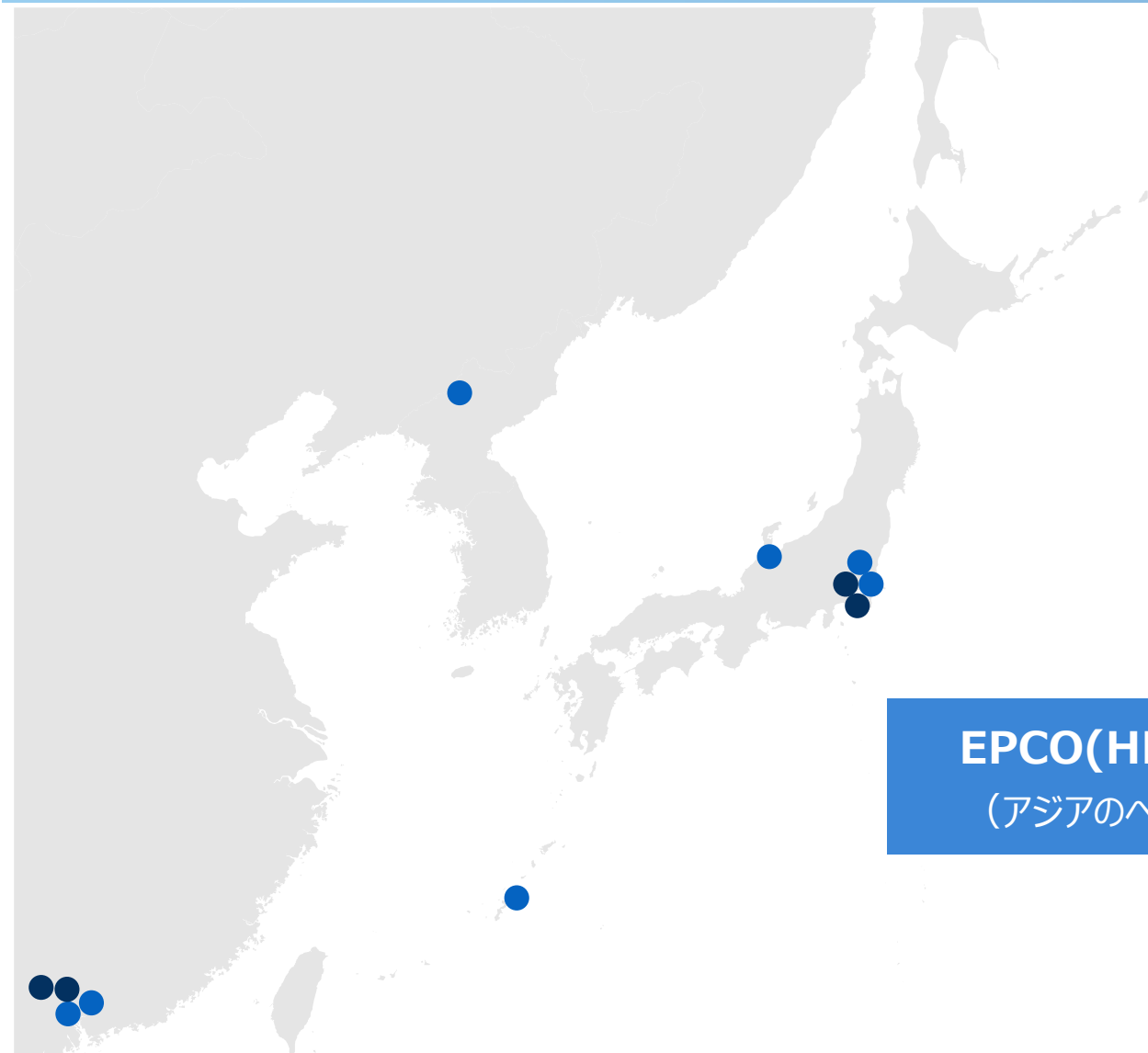


代表取締役グループCEO

岩崎 辰之

会社名	株式会社 エプコ	
本社	〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー 12階	
証券コード	2311 (東証プライム)	
設立	1990年4月12日	
資本金	87百万円	
従業員数	541名 (連結853名) 臨時社員・派遣社員含む ※2022年12月31日時点	
取締役	代表取締役グループCEO 代表取締役CFO 取締役 社外取締役 社外取締役 (監査等委員) 社外取締役 (監査等委員) 社外取締役 (監査等委員)	岩崎 辰之 吉原 信一郎 宮野 宣 田村 正 勝又 智水 秋野 卓生 渡邊 将志
執行役員	D-TECH事業部長 兼 情報システム本部長 事業開発本部長 H-M事業部長	楊 超 金 柁 田 浦山 貴継

# エプコグループの構成



連結子会社
関連会社

## 合併会社を積極活用したグループ体制（グループ経営）



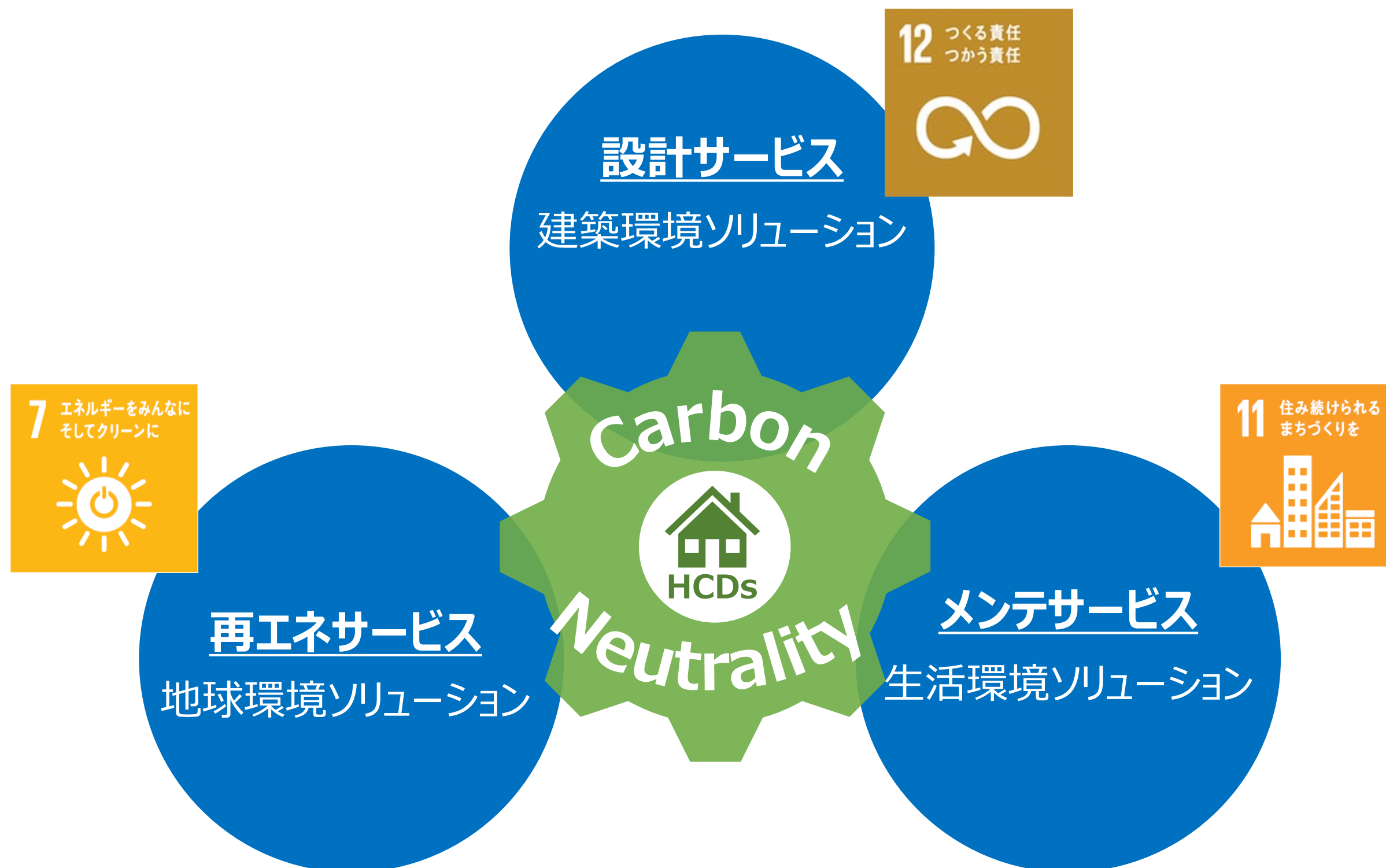
## Challenge to Evolution 脱炭素 × 建築DX

- 2022 ↑ 班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司 設立（CHINA LESSOグループとエプコ深センを合併会社化）
- 2022 ● 金沢オペレーションセンター 設立
- 2022 ● MEDX株式会社 設立
- 2020 ● システムハウスエンジニアリング株式会社（現、株式会社ENE's）を株式取得により子会社化
- 2019 ● 東京証券取引所市場第一部への指定
- 2019 ● 東京証券取引所市場第二部への市場変更
- 2018 ● 沖縄コールセンター移転
- 2017 ● TEPCOホームテック株式会社 設立
- 2016 ● 艾博科建築設備設計（吉林）有限公司 設立
- 2014 ● 東京オフィス移転
- 2011 ● EPCO（HK）LIMITED 設立
- 2011 ● 広東聯塑艾博科住宅設備設計服務有限公司 設立
- 2005 ● 沖縄事務所開設
- 2004 ● 子会社 艾博科建築設備設計（深圳）有限公司 設立
- 2002 ● 本社事務所を東京都足立区へ移転
- 2002 ● JASDAQ市場へ上場
- 1992 ● 株式会社エプコに改組
- 1990 ● 有限会社エプコ設立

**HCDs** HOUSING  
CARBON NEUTRALITY  
DIGITAL SOLUTIONS

## HCDs : Housing Carbon Neutrality Digital Solutions

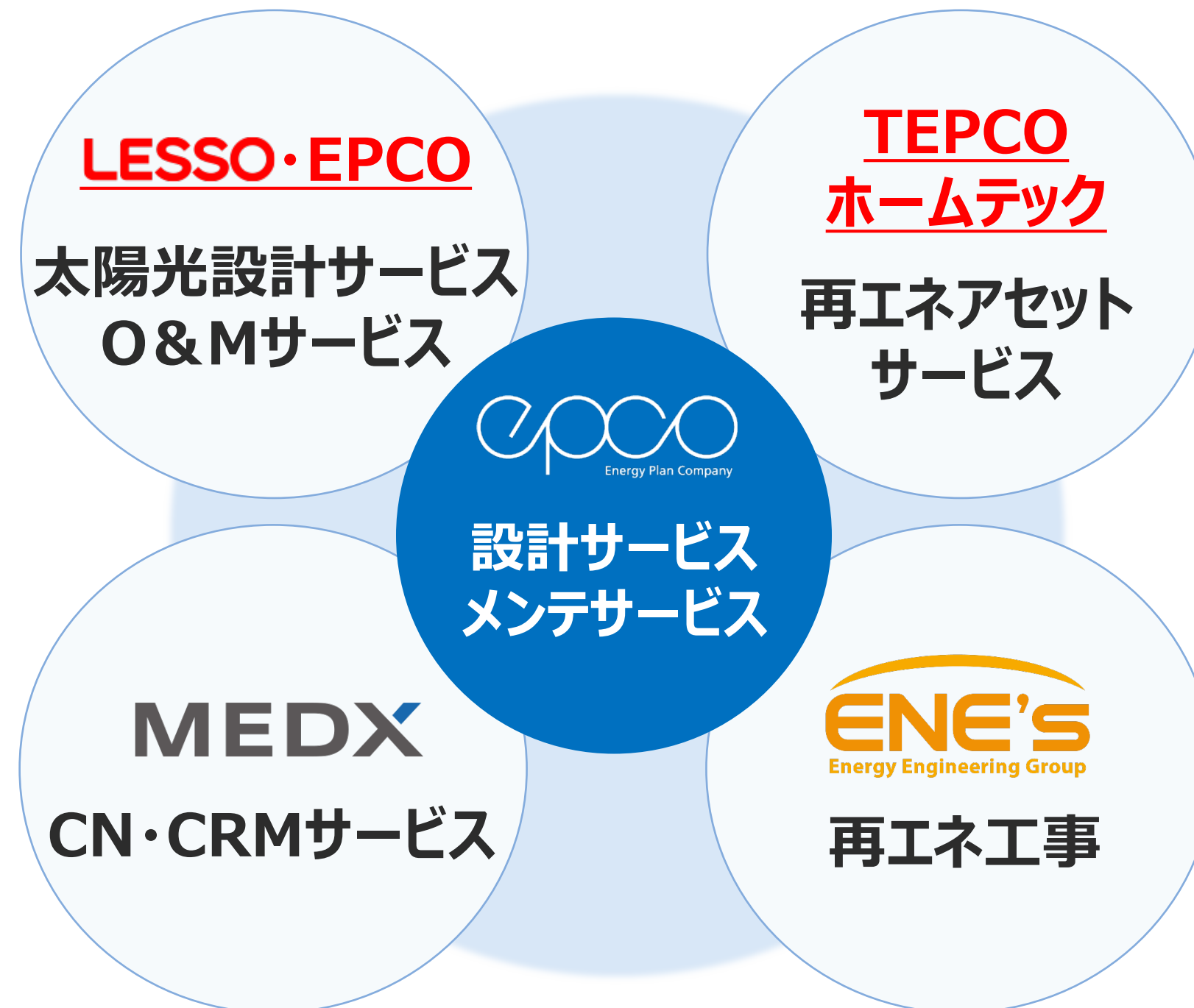
エプコグループは住まい・暮らし・地球環境をデジタル技術で支えます。





## グループ経営

エプコはグループ企業と連携し、グループ企業への価値提供で事業成長を目指す。



## 住宅ライフラインを支える3つのコア事業（設計・メンテ・再エネ）が安定した収益基盤



- ・ハウスメーカーのサプライチェーンを支える日本最大級の設計体制（日中合計で460名）
- ・住宅分野の設計実績は年間約100,000戸（新築低層住宅のシェア約14%）

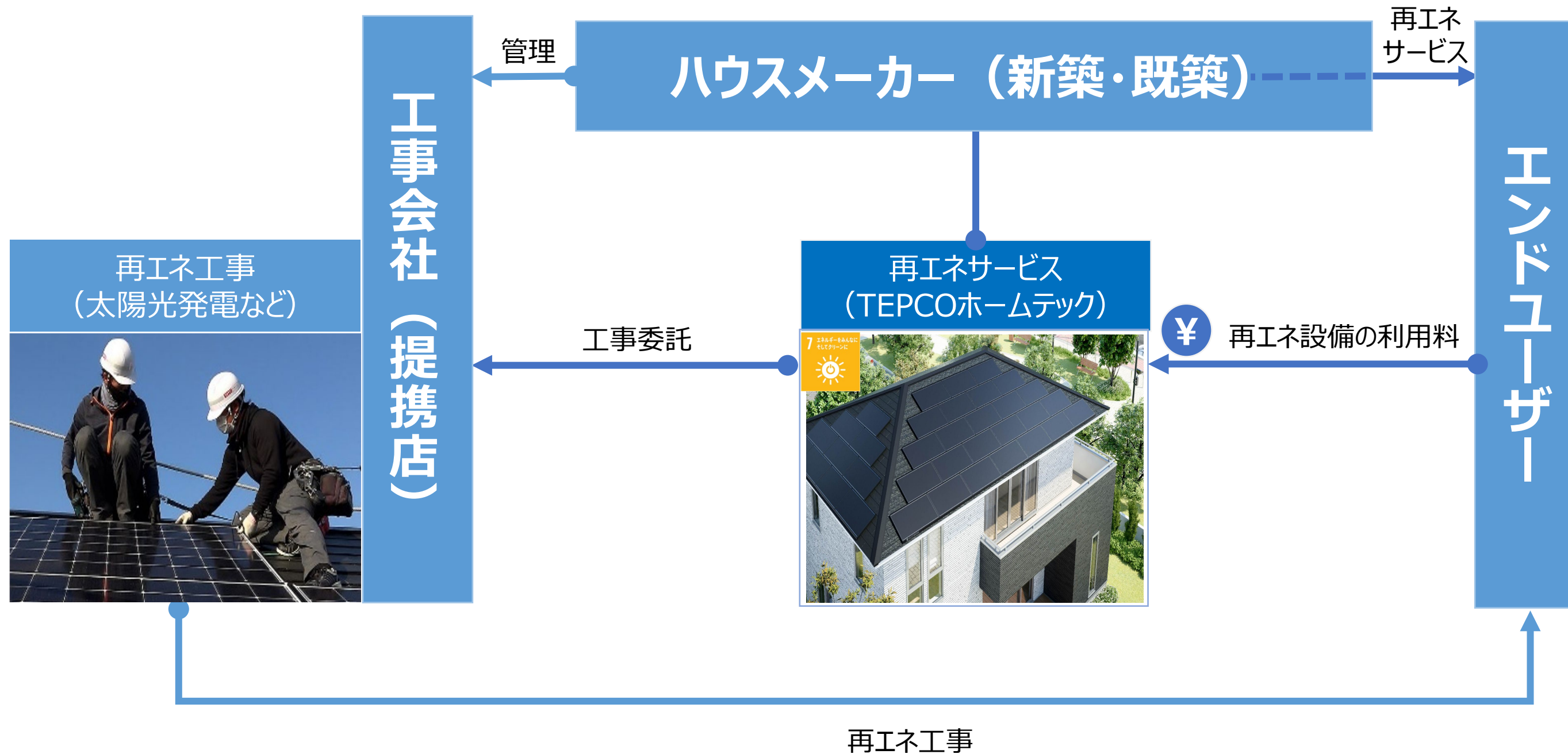


- ・ハウスメーカーのメンテナンスを24時間365日で支えるコールセンター体制（沖縄・金沢で200名）
- ・メンテナンス受付数は年間約600,000件（顧客管理数は全国160万世帯）






メンテナンス工事

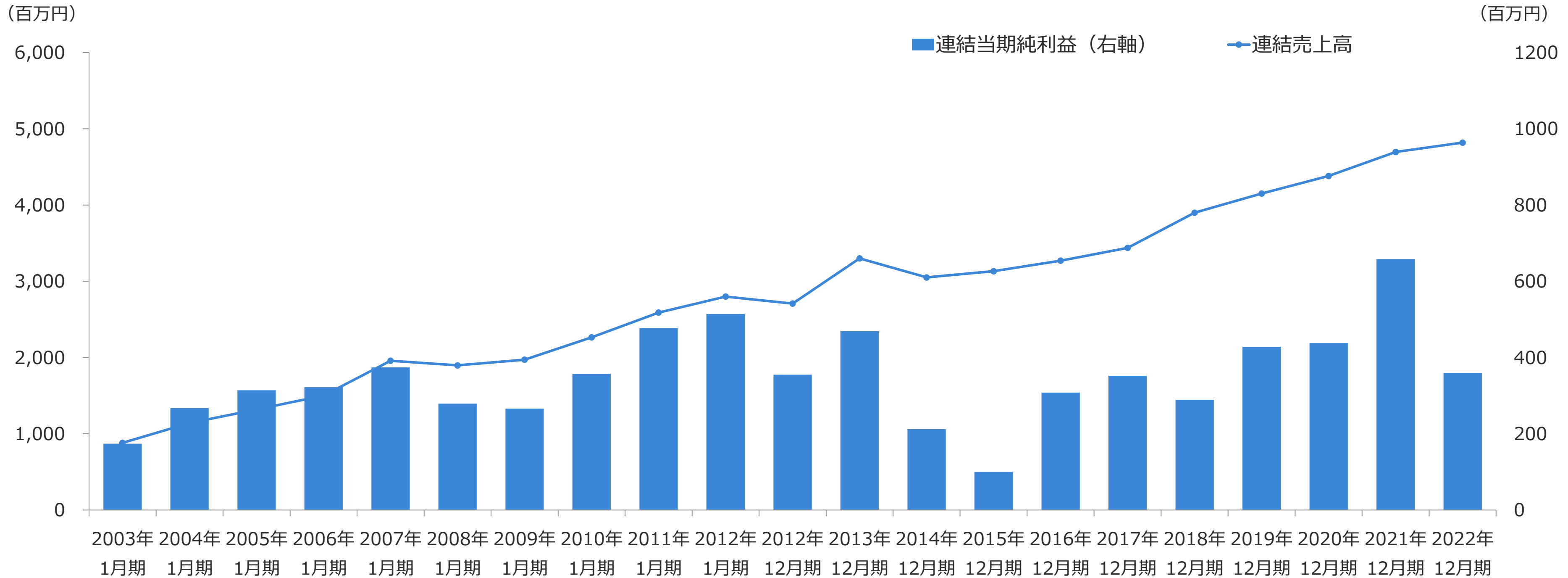
- TEPCOホームテックは東京電力エナジーパートナーとエプコの合併会社
- 再エネ設備のサブスクサービス（初期費用ゼロ円の定額利用）が大手分譲住宅会社で採用拡大中



# エプコグループのESGの取り組み

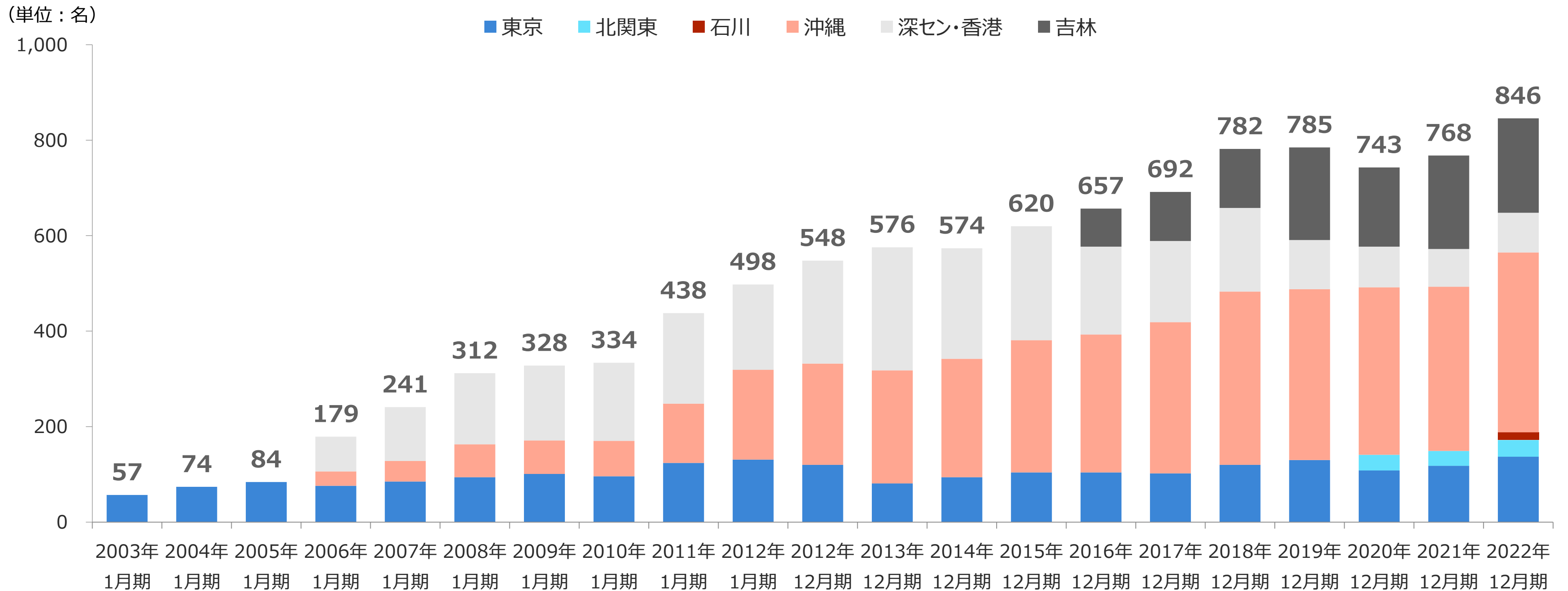
	テーマ	概要	当社の主な取り組み	SDGs
環境 E	事業活動を通じた 環境保全	プレファブ化による産廃削減 BIMによるCO <sub>2</sub> 排出量の見える化	住宅設備の最適設計とプレファブ化により産業廃棄物を削減 BIM設計による建築段階でのCO <sub>2</sub> 排出量の算出	12 つくる責任 つかう責任 
		再エネ機器設置によるCO <sub>2</sub> 削減	太陽光パネルや蓄電池等の再エネ機器設置によるCO <sub>2</sub> の削減 初期費用0円、定額利用サービスによる再エネ機器の普及に貢献	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 
	環境負荷低減	IT活用による印刷物の削減	ITを活用した設計図面チェック時のペーパーレス化による印刷物の削減	
社会 S	居住者	居住者との関係	住宅全般における様々なトラブルを24時間365日に対応 効率的なメンテナンス手配による迅速な問題解決	11 住み続けられる まちづくりを 
	お客さま	住宅会社等のお客さまとの関係	低コスト、高品質、短納期の実現による顧客満足度の向上	
	株主さま	株主様との関係	適時かつ適切な情報開示 <a href="https://www.epco.co.jp/ir/">https://www.epco.co.jp/ir/</a> 積極的かつ安定的な株主還元 <a href="https://www.epco.co.jp/ir/highlight.html">https://www.epco.co.jp/ir/highlight.html</a>	
	従業員	ダイバーシティ推進	エプコグループ従業員において、 女性比率46%、外国人従業員比率37%（2021年12月末時点）	
		安全・健康な職場づくり	健康経営の推進（産業医・外部機関との連携による従業員の健康管理）	
ガバナンス G	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス体制	監査等委員会設置会社であり、社外取締役比率57%（7名中4名） コーポレートガバナンス報告書 <a href="https://ssl4.eir-parts.net/doc/2311/ir_material6/174682/00.pdf">https://ssl4.eir-parts.net/doc/2311/ir_material6/174682/00.pdf</a>	
	コンプライアンス	コンプライアンス体制	エプコグループ行動規範の制定、従業員向けコンプライアンス教育の実施 内部通報制度の制定	
	セキュリティ	情報セキュリティ管理	情報セキュリティマネジメントシステムの構築（ISO27001認証の取得）	
個人情報保護		個人情報保護マネジメントシステムの構築（プライバシーマークの取得）		

# 連結業績推移



エネルギー事業への  
戦略投資期間

# 連結従業員数 推移

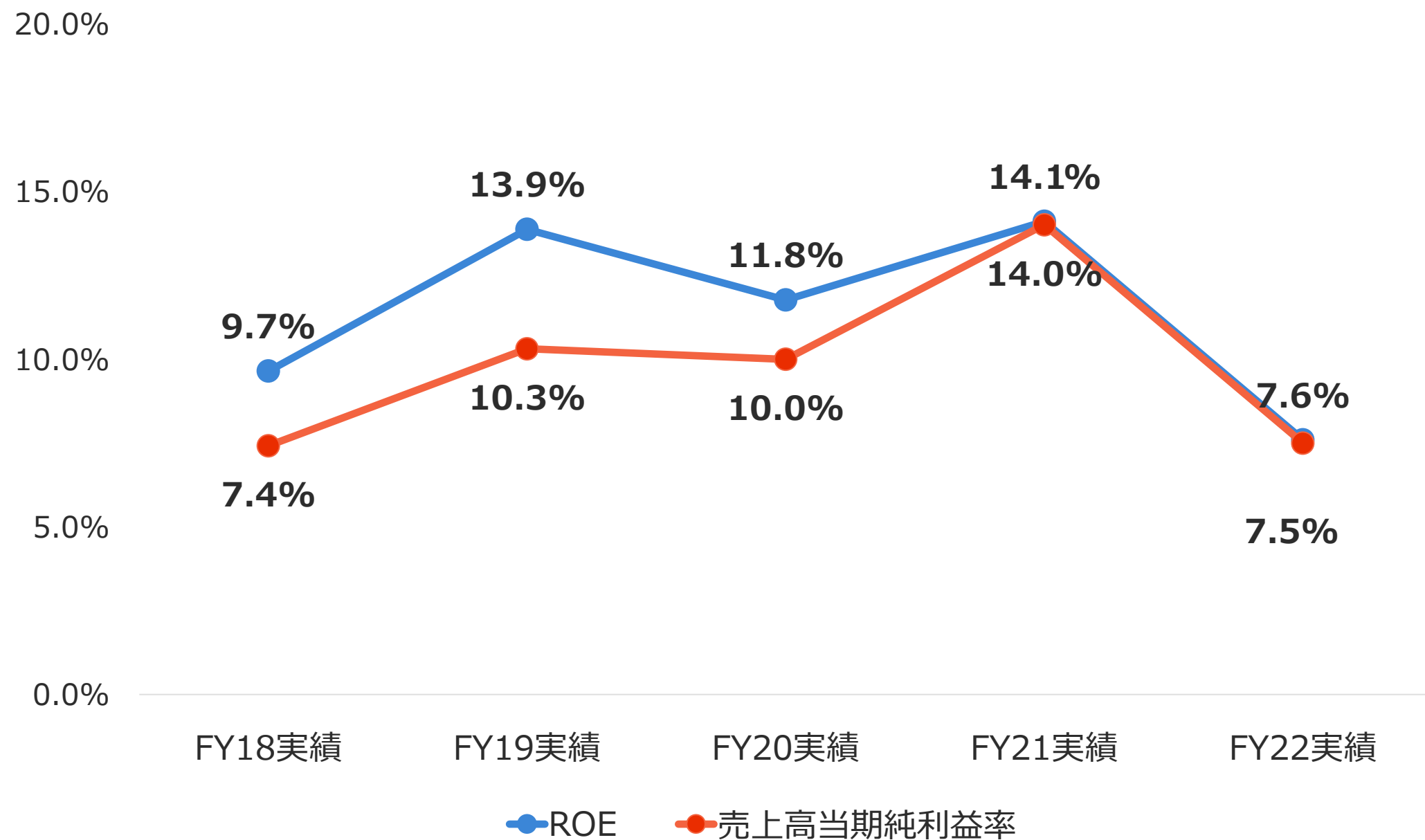


※ 臨時雇用者を含む（臨時雇用者は期中平均従業員数にて集計）



過去5年間のROE（平均）は 11.4% → 利益率向上により、ROEのさらなる向上を目指す

【ROE及び売上高当期純利益率の推移】



## ROEに関する見解

### 【ROEのさらなる向上策】

#### ① 中期経営計画の推進による利益率向上

中期経営計画を推進することで各事業部の売上高営業利益率の向上及び持分法投資利益の増加を実現し、売上高当期純利益率の向上を図る。

#### ② 余剰資産の適切な管理

事業拡大に応じた積極的な株主還元により、総資産回転率及び財務レバレッジの向上を図る。

# IRスケジュール 2023年（予定）



## 2023年

2月13日（月）	2022年12月期 決算発表	6月29日（木）	権利落日
2月27日（月）	2022年12月期 経営計画説明会（本決算）	8月9日（水）	2023年12月期 第二四半期決算発表
3月11日（土）	個人投資家向けオンラインセミナー	8月下旬	2023年12月期 経営計画説明会（第二四半期）
3月24日（金）	第33回定時株主総会	11月8日（水）	2023年12月期 第三四半期決算発表
5月11日（木）	2023年12月期 第一四半期決算発表	12月27日（水）	期末配当 権利取最終売買日
6月28日（水）	第二四半期配当 権利取最終売買日		



IRサイト

<https://www.epco.co.jp/ir/>



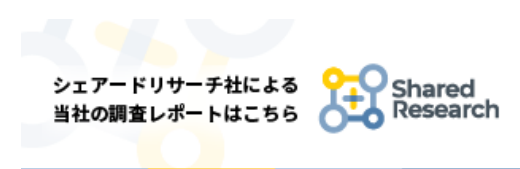
IRメール配信サービス

<https://www.epco.co.jp/ir/mail.html>



ENGLISH (IR)

<https://www.irstreet.com/new/en/brand/index.php?brand=159>



アナリストレポート

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/2311>



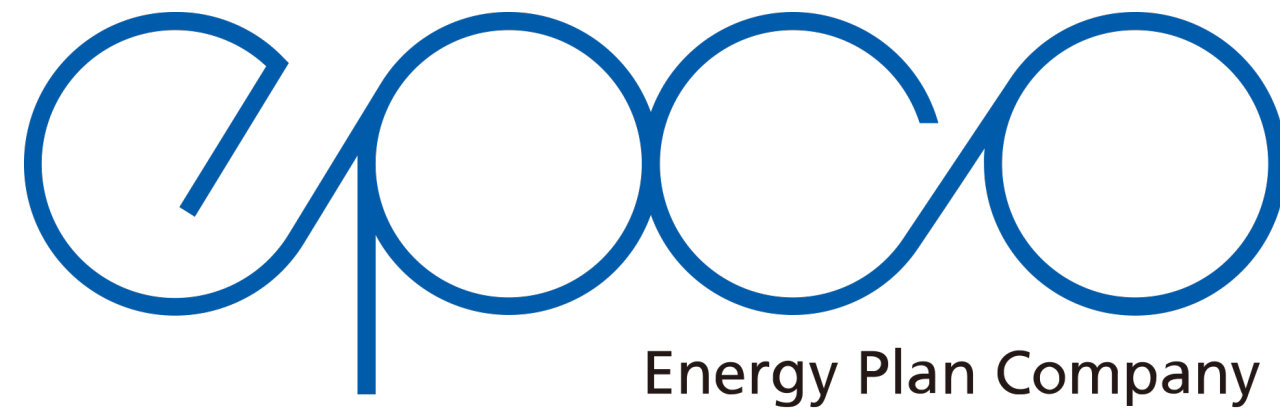
CEOブログ

<https://www.epco.co.jp/aroute/>



お問い合わせ

<https://www.epco.co.jp/contact/contact.php>



**ご注意**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。